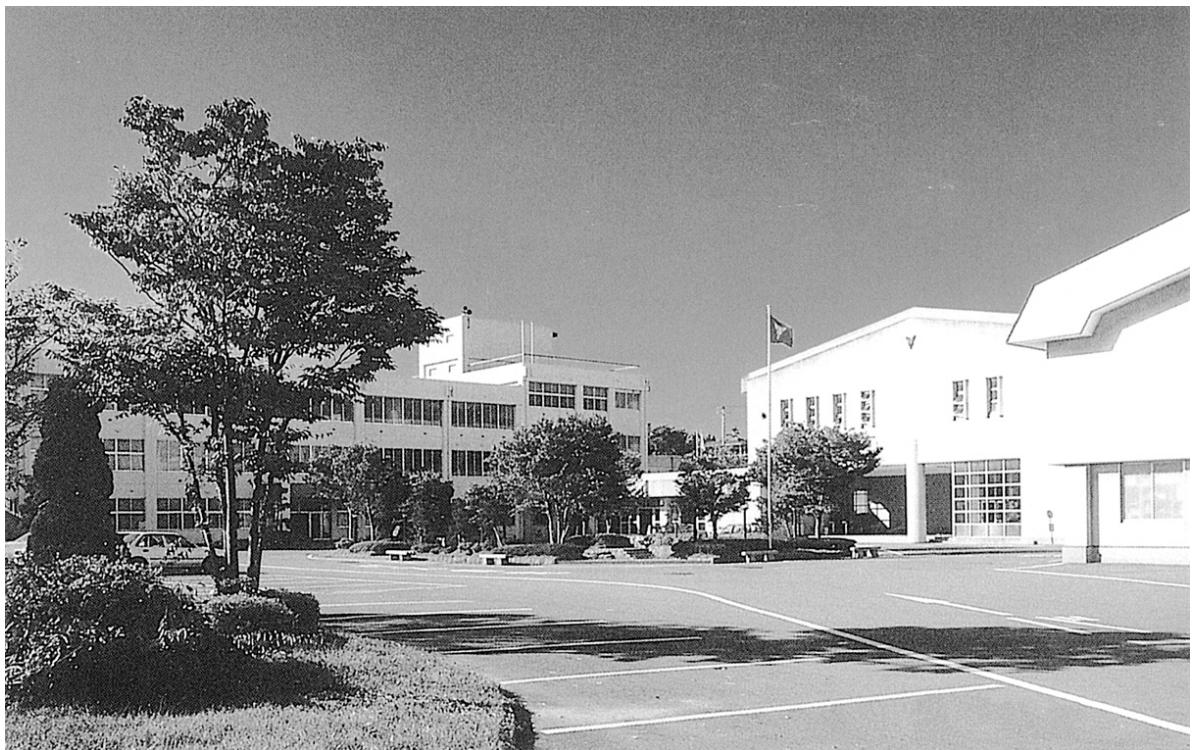


東京雄水会

秋商我と共にあり

秋田商業高校同窓会 東京支部
会報(令和7年)第52号



校 歌

岩谷 嘉市 作詞
成田 為三 作曲

1. 秀麗の山鳥海は 久遠の雪の影淨し
浩滔の水雄物川 永遠に流れて色深し
この精靈の気を享けて 清淨たりや矢留城

5. 高く掲ぐる商神は 健児の意氣の象徴かな
ああ青春の血に燃えて 朝夕仰ぐ学舎の
心の故郷「秋商」を いざや謳わん諸共に

2. 義勇を誇る千秋の その城南の学舎に
巷の塵を低く見て 向上の意氣弥高く
図南の翼養える 健児雄々しき姿かな

3. 名も大平の峰の上に 燃ゆる希望の旭日影
老松暮るる城頭に 永劫告ぐる北斗星
崇き啓示を身に浴びて 自彊息まさる健児かな

4. 涨る覇氣を染め抜ける 旗幟鮮けし自治正義
校風四方に香ぐわしき この学舎に睦び合う
健児五百の渾身に 愛校の血ぞ波打てる

Allegro moderato

mf

1. 秀一れいのやま鳥一一かいはく
5. たかくかかぐるしょーしんはけ

mp

おんのゆきのかげーきよーししなこあ
んじのいきのしるーしーかーなあ

ーーとーのみず雄ーもーのがーわーと
ーーせいしゅんの血ーにーもえーとあ

f

わーにながれていーろーふかーしーこ
さゆうあおーぐまーなーびやーのこ

ff

のせいれいのきーをーうけーでーしょ
こころのこきょうあーきーしょーうーをーい

ーじょーたりややどーめー城ーー
さやうたわんもどーとーもーに

もくじ

校 歌	表紙裏	令和 6 年度東雄句会五句抄	50
令和7年東京雄水会の集い次第	2	第 72 回雄球会記念ゴルフコンペ開催報告	
ご挨拶 東京雄水会 会長 川口 輝司	3	雄球会事務局 高 19 期 戸井田俊明	…52
壱百六年の歴史の中で 秋田商業高校 校長 高田屋 馨	5	優勝者のひとこと(第 72 回大会)	
校長退任にあたって～母校の生徒の成長を願つて 第24代 校長 滝澤 徳彦	7	高 17 期 加藤由市	…55
活動 報 告	9	第 73 回雄球会ゴルフコンペ開催報告	
令和6年度収支決算報告書・監査報告書	11	雄球会事務局 高 19 期 戸井田俊明	…56
寄付金ご協力の御礼	12	優勝者のひとこと 高 25 期 川口 輝司	…58
令和 6・7 年度活動方針	13	「秋田ふるさと応援団」と「東京雄水会」と「私」	
令和 7 年度収支予算書(案)	14	あげまき会 東京支部 支部長 藤原宏子	…60
「令和6年 東京雄水会の集い」開催報告	17	秋田商業高校 令和 5 年度の主な出来事	…61
傘寿を迎えるにあたり「人生の原点を振り返る」 高16期 阿部 一夫	35	令和 5 年度秋田商業高校各クラブの活動実績	…62
喜寿を迎えて 高19期 阿部 信男	37	東京雄水会会則	…63
2025/1/25「令和 7 年東京雄水会 新年会開催報告	42	慶弔規程・会報永久保存規程・会計処理規定	…64
		会報送付基準規程	…65
		役員名簿(案)	…66
		物故者名簿・東京雄水会運営組織図	…67
		必勝歌・編集後記・学校所在地	…68

◎広告掲載スポンサー紹介(50音順)◎

秋商硬式野球部OB会 東京支部	…15	和食 Dining 笑酒 (えぐし)	…49	高萩ゴルフセンター	…58
秋商卓球部東京OB会	…34	岸 本 管 財 株式会社	…15	有限会社榎木沢軌道工業	…16
秋 商 雄 球 会	…55	株式会社 KM コーポ レーシ ョン	…49	有限会社都市クリエイティブ	…39
秋 田 銀 行 東 京 支 店	…4	ジャズシンガー 神馬美代子	…17	ネットフ ラワーズ	…39
アキタコアベース	…41	稻庭うどん			
曹洞宗 永 明 寺	…13	有限会社佐藤養助商店	…40	安宅彰税理士事務所	…68
		有限会社大和土地建物	…34	有限会社 光 商 事	…14

令和7年東京雄水会の集い 次第

令和7年6月21日（土）11：30開会
於 アルカディア市ヶ谷 阿蘇の間

司会 幹事長（高21期）佐藤政雄

黙祷

開会の挨拶……………司会者
校歌齊唱……………（指揮 宮崎勇一=高18期）全員
会長挨拶……………東京雄水会会長 川口輝司

◎総会

- 報告事項 (1) 令和6年度活動報告
(2) 令和6年度収支決算報告
(3) 監査報告
(4) 令和6・7年度活動方針
○審議事項 (1) 令和7年度収支予算（案）
(2) 役員の一部変更（案）
(3) その他

○来賓紹介……………司会者
○来賓祝辞……………秋田商業高校 校長 高田屋馨様
秋商雄水会 副会長 佐々木久子様
恩師 今野正樹様

○講演……演題「心の故郷 秋商の3年間」
元プロ野球選手 マリーンズ・ベースボールアカデミー前校長
高28期 武藤一邦様

○懇親会 司会 副会長（高28期）高橋貢
副会長（高33期）白石稻子

乾杯……………ご発声 秋田県東京事務所 所長 佐々木重夫様

小林陽一トリオ with 神馬美代子 ミニライブ
お楽しみ抽選会

校歌・必勝歌齊唱……………（指揮 宮崎勇一=高18期）全員
閉会の挨拶……………副会長（高33期）齋藤奈智子

ご挨拶



東京雄水会 会長 川口 輝司

会員の皆様には、ますます健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、同窓会へ格別のご理解とご協力を頂いておりまことに厚くお礼申し上げます。昨年6月の総会で越前谷千秋会長の後任に推挙いただき、9代目の会長に就任いたしました。誠に微力ではございますが、会長として東京雄水会発展のため役員の方々と力を合わせ努力いたす所存でございますので、ご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、昨年の総会で年会費の改定と会報送付基準制定のご承認をいただきました。

会の財政状況は、単年度では毎年赤字が続いている会員有志からの寄付金で赤字増加を抑えているのが現状であります。令和7年には、当会も会員数約1,020名のうち75%弱が高齢者となります。特に会の中心としてご活躍いただいている高19期までの会員が後期高齢者となります。このような状況下、毎年会費納入者が減少しており令和6年度の納入者は350名弱となりました。この厳しい現実に対処するには若い層の同窓会への参加者を増やすことは勿論のこと、特に定年退職を迎える会員を如何に同窓会に参加していただくかが重要と考えております。そのためには、ホームページやLINEなどSNSを活用して同窓会に関心をもってもらうことが不可欠となり

ます。幸いにして高30期以降の役員が5名となりSNSの活用に積極的で力強い限りです。

また、費用削減にも引き続き努めてまいります。特に送料の大幅上昇により今まで全会員に送付していました会報を卒業後

10年間以内の会員を除き、前年度年会費納入

者に限定することといたしました。令和6年度の主な活動は、秋商雄水会支部長懇談会ならびに賀詞交歓会にそれぞれ出席し、本部との連携に努めてまいりました。けやき会（在秋田市高校の同窓会東京支部や郷土会で構成する秋田市との情報交換会）の一員として在京秋田市政情報交換会に出席し他高校同窓会関係者と秋田市との連携を深めることができました。秋田ふるさと応援団が主催するチャリティの集いにも参加、秋田県内の他高校同窓会関係者と協力してチャリティを成功させました。また、第47回全国柔道選手権大会に出場する選手の陣中見舞いと応援を行いました。今後もこれらの活動を通じて秋商雄水会、他高校同窓会ならびに地元秋田と東京雄水会の連携を深めてまいりたいと思っております。

サークル活動は東雄句会による毎月1回5句投句する通信句会の開催。雄球会による年2回のゴルフコンペ開催。東雄文化部によるホームページを活用して会員の活躍する行事のPRと参加者募集を行いました。当会の重要なサークル活動として今後も積極的に支援推進してまいります。

4月の定期異動で校長の交代がありました。令和3年4月から母校に尽力された瀧澤徳彦先生が定年退職され、高田屋馨先生が新たに校長先生に就任されました。

前校長の瀧澤先生には、数々のご功績に心からお礼を申し上げるとともに、今後の活躍をお祈りいたします。新校長の高田屋先生には、秋商の更なる躍進にお力を發揮されることを期待いたします。

東京雄水会も本部秋商雄水会とともに力強く支援してまいります。

これからも皆様と東京雄水会の発展に努めてまいります。引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



今年3月の全国高校柔道選手権大会で

秋田銀行

東京支店

執行役員
東京支店長
兼経営企画部
東京事務所長

長山史朗

東京都中央区京橋2-5-18 京橋創生館5階

電話 03-3567-8411

HP <https://www.akita-bank.co.jp/>

壱百六年の歴史の中で

秋田市立秋田商業高等学校 校長 高田屋 馨



このたび、定期人事異動で秋田市立秋田商業高等学校校長として着任いたしました高田屋馨と申します。百年

を越える伝統と実績に彩られた本校にお迎えいただきましたことを、心より光栄に思うとともに、その重責に身の引き締まる思いでございます。

本校は、大正9年に創立されて以来、その歴史の中で、商業教育の分野において常に時代の先を見据え、地域社会に貢献する有為な人材を多数輩出してまいりました。「感謝・勤勉・鍛錬」を校訓に掲げる本校は、知識や技能を育むだけでなく、生徒一人ひとりの人間性を大切にし、社会で信頼される人格の形成を目指して教育活動を展開しております。

4月8日に挙行された入学式では、新入生209名を迎え、全校生徒数は630名となりました。新入生には学習や部活動などの経験を通じて人格や品格を磨き、より高い道徳観や礼儀を身につけてほしいことや、品性の陶冶をもって、人として美しくあることを求め、

主体的に自己をつくり上げていく営みの尊さについて話しました。それぞれの目標に向かって、大いに活躍してくれるものと思っております。

私はこれまで、県内各地の高等学校において、保健体育の教員として勤務する中で、学力の向上はもちろん、社会性や主体性、そして他者と共に生きる力を育てるこの重要性を教育の中心に据えてまいりました。これからの中未来を生き抜く若者には、多様な価値観を理解し、自ら考え、行動できる力が求められます。そのような力を育む教育を、本校の恵まれた教育環境の中で、実現してまいりたいと考えております。

本校では、全国商業高等学校協会主催の各種検定試験や競技会、地域との連携による実践的な学習活動が数多く行われており、生徒の成長の場として非常に多様で魅力的な機会が用意されています。また、ICTの活用や探究学習の充実など、現代的な教育手法も積極的に取り入れ、生徒の主体的な学びを推進し、変化する時代に対応できる柔軟な学校づくりを進めていく所存です。

さらに、学校は地域社会の一員でもあります。地域の方々や保護者の皆さまと連携しながら、共に生徒を育てていく「開かれた学校

づくり」に努めてまいります。本校には、「雄水会」という心強い応援団が存在します。皆さまからの、母校愛、温かい御支援、御助言をいただきながら、本校の更なる発展に尽力

してまいりますので、どうかこれまでと変わらぬ御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



入学式の様子



生徒代表あいさつ

結びに、秋田市立秋田商業高等学校の生徒たちが、それぞれの夢や目標に向かって意欲的に学び、卒業後は地域や社会の中で大いに活躍してくれることを願ってやみません。

そして、教員一同とともに心を一つにし、「生徒第一」の教育を実現してまいります。

今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。

校長退任にあたって

～母校の生徒の成長を願って～

第24代校長　瀧澤　徳彦

日本中が「第3波」と騒いでいた、コロナ禍の令和3年4月に母校の校長として赴任して以来、4年間、前会長の越前谷千秋様、現会長の川口輝司様、幹事長の佐藤政雄様をはじめ、東京雄水会の皆様には本当にお世話になりました。学校への支援だけでなく、私個人にも激励の言葉をいただき感謝しております。

令和3年度の「集い」はコロナの影響で延期となり、はじめて皆様にお会いできたのは、令和4年11月3日に開催された「令和4年東京雄水会の集い」でした。3年ぶりに開催された会でありましたが、100名程の会員の皆様と有意義な時間を過ごさせていただきました。どの年代の方々からも母校に対する強い想いを感じられ、「しっかりとしなければ」と責任の重さを痛感したのを覚えております。また、実はその前の令和3年12月には、埼玉県熊谷市で開催された第100回全国高校サッカー選手権記念大会にサッカー部が出場した際に、東京雄水会の皆様からは大応援団を組んでいただき大声援を受けました。コロナ禍で外出もままならない時期でしたが、母校や後輩に対しての多くの皆様からの応援には感激しました。このように、東京雄水会の集いや全国大会の応援、新春賀詞交歓会等を通じて多くの方々と知り合うことができたのは、私にとって一番の財産です。時には大先輩から八橋校舎時代の話を伺ったり、懐かしい同級生や立派に成長した生徒たちと再会したり、改めて秋商を通してできた「人と人とのつながり」を感じているところであります。

この4年間で学校としての一番の行事でありました「創立100周年記念式典」は、2度の延期を経て、令和3年12月21日に実施いたしました。当初は、東京雄水会をはじめ県外の同窓生の皆様からもご出席いただき、盛大に開催する予定でしたが、コロナの影響で参加者は生徒・教職員、来賓も秋田市長に限り、会場も秋田市文化会館から学校体育館へ変更するなど、大幅に縮小しての開催でした。祝賀会も中止し、雄水会員の皆様には、たいへん申し訳なかったと思っております。そのため、令和12年（2030年）に実施予定の創立110周年記念行事は、祝賀会も含め盛大に開催する予定でありますので、是非参加いただければ幸いです。

母校には、高校生の10代、教員として過ごした20代から30代にかけての10年間、校長として勤務させていただいた50代後半の4年間を合わせると、17年間も勝平の校舎に通ったことになります。教諭時代に硬式テニス部の顧問をしていましたこともあり、生徒が大会で活躍する姿を観戦することが好きで、グラウンドやコート、道場等にもよく足を運んで応援をしました。校長1年目は、コロナの影響で応援規制がありましたが、全県総体の決勝戦などには「こそっと」応援に出かけたこともあります。生徒たちが試合で勝って歓喜の声を上げたり、負けて悔し涙を流すなどの姿は感動そのものでした。このように生徒が成長する場面に立ち会えたことや、いきいきと活躍している生徒たちを見ていると、まもなく創立110周年を迎える本校の伝統は偉大であり、貴いことだと実感させられます。



校長退任式



元ロッテ、ヤクルトの成田翔さんと



校長室の一コマ



令和6年度卒業式

創立60周年を記念して、東京雄水会の皆様からサッカー場脇に寄贈された「梅の木」は、今年も冬の厳しい寒さに耐え綺麗な花を咲かせました。退任間近の3月下旬には、感謝の気持ちを込めて肥料を「ちょこっと」と与えました。その「梅の木」は、どのような自然環境においても、変わらず花を咲かせ、実をつけます。そして、常に秋商の生徒たちの道標となり、見守ってくれています。母校の生徒たちには、この「梅の木」を代表するように「雄水会」という一番の応援者が、いつでも「見守って、応援している」という想いを忘れず、大きく成長していく

れることを願っています。

この三月末で役職定年となり、現在は、秋田市山王にある秋田県生涯学習センターでシニアエキスパートとして勤務しております。職場の窓からは、朝夕、秋商の生徒たちが自転車で通学する姿があり、唯一ホッとする瞬間です。

たくさんの思い出をくれた秋田商業高校と、支えていただいた雄水会の皆様に心から感謝申し上げると共に、母校の生徒の活躍、そして、秋田商業高校並びに秋商雄水会のご隆盛を祈念し、お礼の言葉とさせていただきます。4年間、本当にありがとうございました。

活動報告

◎東京雄水会の集い(総会)関連

6. 4. 18 集い開催案内発送 1,051通
6. 6. 22 令和6年東京雄水会の集い開催
○於 アルカディア市ヶ谷
○会員他 70名、来賓・講師7名出席
○講演 専修大学教授
佐藤 満 氏 (高31期)
演題「夢の実現～オリンピック金メダル
獲得プロセスと一期一会～」
○報告事項 (令和5年度活動報告・収支決算
報告・監査報告) を承認
○審議事項 (令和6・7年度活動方針・令和6

年度収支予算・役員の選任・年会費改定と会
報送付基準制定の各案) を原案通り可決
○来賓 (お名前の○印はご挨拶を頂いた方)
秋田県東京事務所所長 坂本 雅和 様
東京秋工会 幹事長 森 健 様
あげまき会東京支部長 藤原 宏子 様
秋田商業高校 校長 ○瀧澤 徳彦 様
秋商雄水会 副会長 ○佐々木久子 様
恩師 ○目黒 大作 様

◎会議の開催など

6. 6. 1 三役会議
○於 アルカディア市ヶ谷 12名出席
6. 9. 21 三役会議
○於 さいたま市浦和サポートセンター 7名出席
6. 2. 8 三役会議
○於 京橋区民館 8名出席
6. 4. 23 会計監査
○宮崎・加藤監査、川口会長、斎藤副会長、佐藤幹事長

◎会報の発行

6. 6. 22 会報第51号発行
6. 7. 2 会員に発送 ○佐藤幹事長(外部委託) ○958部

◎秋商雄水会・母校との連携等

5. 11. 13 雄水会会報第19号発送 ○佐藤幹事長(外部委託) ○1,008部

◎秋高連関係行事

6. 5. 26 総会&フェスタ開催 ○越前谷会長はじめ8名参加
6. 7. 26 役員会 ○於 京橋区民館 ○佐藤幹事長出席
6. 10. 28 役員会・運営委員会 ○於 京橋区民館 ○斎藤副会長・佐藤幹事長出席
6. 11. 4 ミニハイク(鎌倉散策)開催 ○戸井田副会長はじめ5名参加
7. 3. 7 役員会・運営委員会 ○於 京橋区民館 ○斎藤副会長・佐藤幹事長出席
7. 4. 18 役員会 ○於 京橋区民館 ○佐藤幹事長出席

◎けやき会関係行事

6. 6. 1～2 秋田竿灯浅草祭り支援

○於 浅草六区ブロードウェイ商店街他 ○越前谷会長・伊藤副会長・安藤副会長参加

6. 8. 19 運営委員会 ○於 秋田市東京事務所 ○戸井田副会長・安藤副会長出席

6. 11. 13 在京秋田市政情報交換会

○於 アルカディア市ヶ谷 ○川口会長はじめ 10 名参加

6. 11. 14 羽越線高速化促進大会

○於 ルポール麹町 ○川口会長・戸井田副会長・佐藤幹事長出席

◎秋田ふるさと応援団関係行事

6. 9. 4 第 11 回チャリティーの集い

○於 スクワール麹町 ○参加者 182 名 ○川口会長はじめ 10 名参加

◎その他の団体との交流

6. 10. 12 あげまき会東京支部総会

○於 アルカディア市ヶ谷 ○岸本顧問出席

6. 11. 2 東京秋工会総会

○於 アルカディア市ヶ谷 ○川口会長出席

◎サークル活動

東雄句会

6. 6. 22 東京雄水会会報第 49 号に五句抄掲載 11 名

※毎月 1 回 5 句投句する通信句会開催。選句・選者選評をまとめて会報発行。毎月一人 1 句を
東京雄水会 HP に掲載。

雄球会

6. 9. 25 第 72 回コンペ 於 佐倉カントリー倶楽部
19 名参加 優勝 加藤 由市(高 17 期)

7. 3. 26 第 73 回コンペ 於 佐倉カントリー倶楽部
16 名参加 優勝 川口 輝司(高 25 期)

東雄ハイキングクラブ

東雄文化部

東京雄水会 HP を活用し、会員が活躍する行事を PR し参加者を募るとともに、結果を報告している。

5 年度に PR したもの

6. 6. 18～23 湊恭太出展「地球の声を聞く」

6. 8. 4 PEACE ON THE EARTH/和 LIVE 神馬美代子出演

6. 10. 22 JAZZ&Classic Music ライブ 神馬美代子出演

6. 11 若松節朗監督作品「海の沈黙」公開

令和6年度収支決算報告書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

単位：円

項目	令和6年度				令和5年度	
	決算額	備考	予算額	増減額(△減)	決算額	備考
収入の部						
1 総会会費	737,000	68名	758,000	△21,000	572,000	73名
2 年会費	694,000	347名	760,000	△66,000	734,000	367名
3 寄付金	551,000	160件	450,000	101,000	458,500	153件
(1) 一般寄付金	(551,000)	160件	(450,000)	(101,000)	(458,500)	153件
(2) その他寄付金	(0)	0件	(0)	(0)	(0)	0件
(3) 応援費寄付金	(0)	0件	(0)	(0)	(0)	0件
4 広告料	240,000	21件	240,000	0	240,000	21件
5 雑収入	132		10	122	11	
収入合計	2,222,132		2,208,010	△14,122	2,004,511	
支出の部						
1 総会費	1,087,489		1,030,000	57,489	989,776	
2 会報費	390,500	1,600部	380,000	10,500	368,500	1,600部
3 会議費	113,990		100,000	13,990	114,760	
4 事務通信費	695,114	HP管理費含む	700,000	△4,886	521,490	HP管理費含む
5 名簿整備費	0		0	0	0	
6 寄付交付金	20,000		30,000	△10,000	30,000	
(1) サークル活動	(20,000)		(30,000)	(△10,000)	(30,000)	
(2) その他の寄付	(0)		(0)	(0)	(0)	
7 応援費	0		30,000	△30,000	1,188	
8 渉外費	125,400		150,000	△24,600	144,200	
9 雑費	0		1,000	△1,000	0	
10 予備費	0		20,000	△20,000	0	
支出合計	2,432,493		2,441,000	△8,507	2,169,914	
当年度収支差額	△210,361		△232,990	△22,629	△165,403	
未払金	0		0	0	0	
前年度からの繰越	1,280,988		1,280,988	0	1,446,391	
次年度への繰越	1,070,627		1,047,998	△22,629	1,280,988	

※1. 次年度への繰越金は全額郵便貯金です。 2. 雑収入内訳（郵貯利息 132 円）

以上の通り報告致します。

令和7年6月21日

東京雄水会 会長 川口輝司㊞
副会長 斎藤奈智子㊞

監査報告書

- 監査日時 令和7年4月23日(水)
- 実施場所 岸本管財株式会社 東京都千代田区九段南2-2-7 北の丸ビル2階
- 監査内容 金銭出納帳他帳簿・貯金通帳・領収書・振替受払通知票他証憑書類・振替伝票
令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日) 東京雄水会の会計について、監査の結果、証憑書類・帳票類とともに、適正に処理されていることを確認いたしました。
以上の通り報告いたします。 令和7年4月23日

東京雄水会
会長川口輝司様

東京雄水会 監査官崎勇一㊞
監査加藤通㊞

寄付金ご協力の御礼

毎年「財政基盤の確立」を活動方針に掲げて活動しておりますが、令和6年度も160名(件)の会員から551,000円のご協力をいただきました。

ここに、寄付ご協力者名を掲載し、深く感謝の意を表します。(敬称略・卒業期別五十音順)

- (高 2) 加賀屋 實・森 幸雄 (高 3) 大川 与四郎 (高 4) 橋本 隆一
(高 5) 斎藤 浩・高橋 國治・渡辺 勇治
(高 6) 北島 禮三郎・高橋 雄四郎・吉井 さつ子
(高 7) 近藤 義彦・柴辻 清治・高山 敏男・中村 忠治・渡邊 貢
(高 8) 小野寺 助司・鈴木 恒子・田口 滋
(高 9) 黒澤 欽司・鈴木 正春・高橋 愛子・宮原 将郎・吉田 捷三
(高 10) 佐藤 敬一・高橋 雄次・田口 博・細井 昇・山本 信爾 (高 11) 小濱 欽一
(高 12) 佐藤 孝・杉本 重捷・高井 次雄・高根澤 武・高橋 英夫
(高 13) 阿部 誠・石田 健悦・加藤 和子・須田 重生・高橋 清・竹澤 昭治・平塚 秀樹・三浦 隆夫
(高 14) 伊藤 秀夫・小玉 次男・斎藤 隆一・笹本 忠昭・佐藤 弘道・清水 葵・長谷川浩一・山崎 正直
(高 15) 伊藤 峰男・岩田 順子・大友 義男・加藤 勝芳・川合 タミ子・近藤 和弘・杉田 豊志・
田中 幸男・中島 章・山本 弘子
(高 16) 遠藤 武二・大久保 丈二・加茂 勇一・川村 浩・佐藤 美智子・進藤 紀夫・楳 光雄・増田 玲子
(高 17) 加賀谷 彰造・小林 薫・菅原 敏子・須磨 仁・秩父 良三・長沢 啓司・平川 昌司・
藤田 百合子・松岡 悅子・目時 淑子・柳下 高夫
(高 18) 伊藤 繁男・越前谷 千秋・川口 利夫・草皆 行雄・猿田 昭・田中 優・堀江 静夫・
水沢 公一・宮野 精一・鎌目 博
(高 19) 太田 道也・小幡 敏雄・菊地 正義・佐々木 万里子・佐藤 高義・菅原 文雄・戸井田 俊明・
鍋島 明・松岡 直・三浦 かづえ
(高 20) 上村 正明・加賀屋 繁・佐々木 清美・佐々木 茂・鈴木 明男・関 敏朗・田中 国夫・
中澤 一枝・中島 多美子・長谷部 卓栄・畠澤富美夫
(高 21) 相沢 寿彦・伊藤 和朗・伊藤 辰春・越前谷 一隆・大橋 弘幸・加藤 通・金子 寛治・
神谷 みよ子・佐々木 利明・笹渕 和雄・佐藤 政雄・新城 敦・土橋 輝男・
夏井 洋二・茂木 優・安田 安兵衛
(高 22) 菊地 昇・小西 実・佐々木 続男・澤木 秋吉
(高 23) 熊谷 信彦・鈴木 春一 (高 24) 須田 一
(高 25) 加藤 和子・川口 輝司・工藤 輝雄・佐藤 由美子・柴田 章・宮澤 典子・森山 明美
(高 26) 泉澤 喜代子・中野 都 (高 28) 相原 真・太田 守・佐藤 洋 (高 30) 大渕 浩・小林 伸一
(高 31) 佐藤 満・本間 直人・八木沢 誠・横山 幸悦・渡部 進 (高 33) 斎藤 奈智子・佐々木 幸栄
(高 34) 小松 博之 (高 36) 斎藤 歩 (高 39) 山口 聰 (高 41) 神馬美代子・渡辺 英昭
令和7年新年会ご出席の皆様

令和7年6月吉日

東京雄水会 会長 川口 輝司

令和6・7年度活動方針

1.会の活性化と魅力向上について

- 本会の活動を活性化するため、より多く会員の参加を重視し、『東京雄水会の集い』の期別運営体制の充実を図る。
- 会員の融和・親睦を高めるため、同期会・部活OB会等が開催されるよう、幹事への働きかけや情報提供・会場紹介等のサポートを積極的に行う。
- 会報をより身近に感じ、興味を持ち得る内容の情報を掲載して充実する。

2.ホームページの活用について

- リンク先及び秋田県関連情報の拡充、迅速な情報提供によりさらに魅力を高める。
- 同期会・居住地区会・部活OB会等の開催を促進するため、開催の告知・終了の報告媒体として活用する。
- 本会のサークル活動への参加者拡大のため、積極的に活用する。
- 母校の各種全国大会出場情報の告知及び応援要請情報を提供する。
- 会員の活動情報を積極的にPRする。

3.母校及び秋商雄水会との連携強化について

- 日常の情報交換を密にし、秋商雄水会の総会及び支部長懇談会に出席する。
- 関東地区で開催される全国大会出場選手に陣中見舞をもって激励すると共に可能な限りの応援を行う。

4.執行体制の強化について

- 活動方針を具現するため、業務を分散して役員を張り付け、責任執行処理体制を確立する。

5.財政基盤の確立について

- 年会費の納入率向上及び広告掲載料収入の安定化を図ると共に、経費の節減を努める。

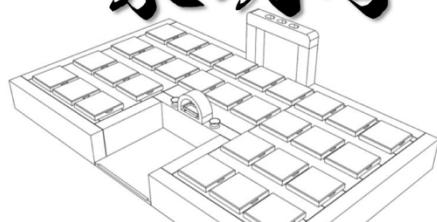
6.外部団体との連携強化について

- 秋高連・けやき会および秋田ふるさと応援団他秋田県関連組織の活動に積極的に参画し、秋田県勢の発展と活性化に寄与する。

厄除け・ぼけ封じ 延命地蔵尊靈場

曹洞宗

永明寺



東京・浅草から東武伊勢崎線で約1時間
足利市駅より、車で8分

〒326-0837

栃木県足利市西新井町3393

電話・FAX : 0284-71-1858

(郵便為替 00380-0-12325)

QRコード 永明寺ホームページ

<http://eimeiji.wixsite.com/mysite>

QRコード 検索 永明寺 足利市

住職：山本信爾
(高10期 昭和34年卒)

御一人様向け

永代供養墓

1名30万円より

※2名まで納骨出来ます。35万円～

年会費等は
かかりません。

延命地蔵菩薩大祭

毎年11月23日(勤労感謝の日)

商売繁盛・身体健全・開運招福祈願

祈願料：大型御札 二千円

特大型御札 三千円

特別祈願札 五千円

令和7年度収支予算書（案）

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

単位：円

収入の部			支出の部		
項目	金額	備考	項目	金額	備考
1. 総会会費	770,000	80名	1. 総会会費	1,300,000	80名
2. 年会費	1,050,000	350名	2. 会報費	300,000	900部
3. 寄付金	450,000	150名	3. 会議費	100,000	
(1)一般寄付金	(450,000)	(15件)	4. 事務通信費	900,000	HP管理費含む
(2)その他寄付金	0		5. 名簿整備費	0	
(3)応援費寄付金	0		6. 寄付交付金	30,000	
4. 広告料	220,000	20件	(1)サークル活動	(30,000)	
5. 雑収入	120		(2)その他寄付	—	
			7. 応援費	30,000	
			8. 渉外費	150,000	
			9. 雑費	1,000	
			10. 予備費	20,000	
収入合計	2,490,120		支出合計	2,831,000	
			当年度収支差額	△340,880	
			前年度からの繰越	1,070,627	
			次年度への繰越	729,747	

不動産：売買・賃貸・管理・仲介

 有限公司 光商事

東京都知事(12)第36543号

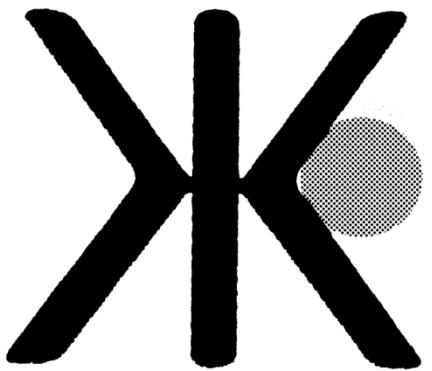
取締役 水沢公一 (高18期)

〒164-0011 東京都中野区中央三丁目31番5号

TEL 03-3381-5335(代)

FAX 03-3382-0018

E-mail : koiti@hikarishouji.co.jp



財産管理の専門会社

岸本管財株式会社

東京都知事免許(6)第76631号

代表取締役

岸本六蔵
(高16期)

〒102-0074
東京都千代田区九段南2-2-7
北の丸ビル2階
TEL 03-5213-4935
FAX 050-3737-3005
E-mail:kishimoto1046@gmail.com

秋商硬式野球部OB会 東京支部



顧問 / 平塚秀樹 (高13期)

支部長 / 大森義昭 (高19期)

* OB会東京支部への連絡とお問い合わせは支部長の大森義昭(高19期)まで
携帯番号 090-1256-0917

昭和47年の創業以来、軌道工事に特化した建設会社として
鉄道の保守を通じて地域社会に貢献します。



有限会社 槻木沢軌道工業



JR東日本グループ
ユニオン建設株式会社 協力会社

代表取締役 槻木沢 美子
顧問 川口 利夫 (高18期)

〒121-0053 埼玉県三郷市上口1丁目87番3号
電話：048-953-6650 Fax：048-953-6619
公式ホームページ：<http://www.tsukinoki.biz/>

令和6年 東京雄水会の集い

梅雨入り翌日にもかかわらず、晴れ間も見えた6月22日(土)「令和6年東京雄水会の集い」が、アルカディア市ヶ谷に、来賓・講師7名、高4期から高47期までの会員72名が集い開催された。最高齢は高4期の橋本隆一さん、とても89才とは見えない元気なお姿に感心したのは私だけではないと思います。

第1部(総会・講演会)では、物故会員に黙祷を捧げ、校歌を斎唱した後、6年間の任期を終え今年で退任される越前谷千秋会長から、次の趣旨の挨拶があった。
●日頃の会の運営への支援・協力に対する感謝。
●1月1日に発生した能登半島地震で犠牲になられた方への哀悼、被災された方へのお見舞いと一日も早い復興。
●今年はパリオリンピック・パラリンピック開催年であり選手の活躍を期待し応援しましょう。
●2012年から長年役員として活躍され、この度故郷である矢島町へ移住された畠澤富美夫さんへエールを送ります。
●会長在任6年間無事に役割を果たすことができたことへの御礼と次の会長へのご協力をお願い。
●会の諸活動への積極的な参加をお願いしたい。
●今日は是非楽しんでいただきたい。
その後、議事に入り議案は役員の選任。年会費の改定・会報送付基準の制定等提案通り満場一致で可決された。越前谷会長からバトンを受けた川口輝司新会長から「皆様の協力を得て、伝統ある会の発展のために尽力したい」との挨拶があった。

次に来賓紹介に続き、来賓を代表して、母校瀧澤徳彦校長、秋商雄水会 佐々木久子副会長、恩師の目黒大作元教諭からご挨拶をいただいた。

講演は、専修大学教授・医学博士でソウル五輪金メダリストの佐藤満氏(高31期)。演題は「夢の実現～オリンピック金メダル獲得プロセスと一期一会～」。野球少年で文武両道であった氏が、レスリングとの出会いから秋商への進学、茂木先生との出会い。柳田先輩との出会い、大学進学で日体大を選ぶことになったエピソード、大学院進学から助手へソウル五輪での金メダル獲得までの苦闘、その後バルセロナ五輪までの苦悩、アメリカへの留学から指導者として努力してきたこと等を動画も交えて熱く語っていただいた。個人的には1500mを4分20秒で走っていたと聞いてその能力に脱帽した。もっと聞いてみたい講演でした。最後に、若松節朗さん(高19期)から、11月公開の映画「海の沈黙」の紹介をいただき、第1部を終了した。

第2部(懇親会)は安藤勝・齋藤奈智子両副会長の司会で、秋田県東京事務所 坂本雅和所長の乾杯のご発声で始まった。遠方からご出席の方の紹介に続き、「小林陽一 Trio with 神馬美代子ミニライブ」で和やかな雰囲気になり、各テーブル毎に懇親を深めていた。その後、佐藤養助商店の稻庭うどんなどが当たる抽選会で当選番号が表示されるたびに会場は一喜一憂、大いに盛り上がった。楽しい時間はあっという間に過ぎた。エンディングで遠藤武二応援団長の指揮で応援拍子と必勝歌・校歌(指揮は宮崎勇一さん)を厳かに斎唱した。最後に、神馬美代子副会長から閉会の挨拶がありお開きとなった。

とにかく大いに盛り上がり、大いに飲んだ一日であった。

ジャズ・ソプラノ歌手

神馬 美代子

Miyoko Jimba
(旧姓 今野)



ジャズシンガーとして20年以上歌ってきましたが、近年声楽も習いソプラノ歌手としての才能も開花中。

ジャズにおいてもビッグバンドのコンサートにも参加するなど活動の幅を広げております。

今年度よりボーカル講師としても活動を始めました。

皆様に喜ばれる歌い手を目指して日々歌声を磨いております。応援どうぞよろしくお願いします!

←ライブ・コンサート情報はこちらのQRコードよりHPをご覧ください。または「神馬美代子」で検索ください。



お待たせいたしました
いよいよ開会です



遠藤応援団長の指揮で校歌斉唱



令和六年
京雄水会の集い



越前谷会長挨拶

界 尔 錦 小 云 ツ



川口新会長挨拶

令和六年 東京雄水会



瀧澤校長 ご挨拶

東京雄水



目黒先生 ご挨拶

の集い



東京雄水



講演 「夢の実現～オリンピック金メダル獲得プロセスと一期一会～」

佐藤 满さん





秋田県東京事務所 坂本所長 乾杯のご発声



関東地区以外から出席の方々

左から石川さん(高37期)(秋田)、福井さん(高31期)(札幌)、児玉さん、今野さん(高33期)(秋田)



小林陽一 Trio ドラム:小林陽一、ベース:ブレント・ナッシー、ギター:田辺充邦
ボーカル:神馬美代子



以下懇親会風景です

神馬さんと若松監督



左から

高19期 伊藤さん、菊地さん、星野さん



左から

高19期 若松さん、小野さん、戸井田さん





左から

高 33 期 柏谷さん、高 31 期 安宅さん

高 33 期 白石さん、斎藤さん

高 41 期 神馬さん



左から

高 41 期 保坂さん、高 31 期 福井さん

高 33 期 佐藤さん、高 33 期 今野さん



左から

高 17 期 平川さん、加藤さん、松岡さん

中央 目黒先生をはさんで
高 28 期 左:高橋さん、右:武藤さん



左から
高 18 期 渡部さん、田口さん
松橋さん、辻永さん



左から
高 18 期 宮崎さん、水沢さん
湊さん





左から

高 18 期 辻永さん、鍬田さん
小川さん、宮崎さん



左:高 4 期 橋本隆一さん
右:高 9 期 橋本健四郎さん
ご兄弟です



右から

高 11 期 竹下さん
高 13 期 平塚さん
高 15 期 長峯さん
高 16 期 進藤さん

左:瀧澤校長

右:あげまき会東京支部長 藤原さん

後で立っているのは高 28 期 高橋さん



左から

講師の佐藤満さん

高 28 期 武藤さん、高橋さん



左から

高 5 期 佐藤さん

東京秋工会 森幹事長

秋商雄水会 佐々木副会長



左:高 16 期 岸本さん
右:高 28 期 武藤さん



左:高 37 期 石川さん
右:高 19 期 大森さん
硬式野球部です



左:高 47 期 高橋さん
右:高 27 期 安藤さん





お楽しみ抽選会が始まりました
進行の高橋さん



橋本健四郎さん
稲庭うどんが当たりました



当たりを待つ
高20期 左：田仲さん
右：足利さん



会長賞は高25期の白山さん、同期の川口会長から稻庭うどんを受け取りました

締めはやっぱり学生服姿の遠藤さん





校歌斎唱の指揮は宮崎勇一さんにバトンタッチ

来年は 6 月 21 日(土)開催予定です

元気でお会いしましょう

秋商卓球部 東京OB会



顧問／大門 彰(高8期) 安東 信昭(高14期)
会長／高橋 忠夫(高18期)
幹事長／伊藤 和朗(高21期)
幹事／進藤 紀夫(高16期) 秩父 良三(高17期)
阿部 信男(高19期) 中田 幾子(高21期)
布施 弘之(高30期) 尾留川一仁(高31期)
福井 和子(高31期)

空き家・空き地 相談センター

パナソニックホームズ提携店
不動産の売買及び仲介

■公益社団法人 埼玉県宅地建物取引業協会会員 埼葛支部 監事
■埼玉県知事(7)第17183号



有限会社 大和土地建物

代表取締役 越前谷 千秋(高18期 昭和42年卒)

〒339-0058 さいたま市岩槻区本丸3丁目16番61号

TEL 048(757)7588

FAX 048(757)7599

■E-mail:daiwatoti@tbu.t-com.ne.jp

傘寿を迎えるにあたり「人生の原点を振り返る」

阿部 一夫（高16期）



人生の節目に過去を振り返ると、目の前に様々な場面が浮かび上がります。私にとって、今回の傘寿(数え年で)と云う80歳の大台を迎えるにあたり、改めて

自分の人生の歩みを考える時間となりました。高校を卒業以来、東京雄水会との縁は殆どありませんでしたが還暦の同期会に参加したのを機に、東京雄水会にも関わるようになりました。

最初は多くの同期が集って活気がありましたが年月を経て古希・喜寿を迎える頃は参加者も減り、現在では数人で寂しさを感じこともあります。

そんな折、東京雄水会の歴代会長に名を連ねる同期の岸本六蔵さんから「傘寿を迎えるにあたり会報に寄稿してほしい」との依頼を受けました。

過去に、会報には二度も寄稿しており、前回は喜寿の時だったため「もう書くことはない」と、お断りしましたが、「まだ現役なのだから書くべきことはあるはずだ」と、押し切られて承諾するになってしましました。

そこで、これまでの自分自身の人生の原点を振り返り改めて思ったのは、現在の自分があるのは秋田商業高校への入学と、そこで「人生の恩師である笹村健明先生との出会い」があったからこそと、改めて深く認識するに至りました。



恩師の笹村健明先生ご夫妻との撮影(先生宅前で)

高校時代は特に秀でた才能もなく、自分を平凡だと思っていましたが、たまたま体育の授業で足が速かったことがきっかけとなり、笹村先生から陸上競技部への勧誘を受けました。そして、それが私の人生の大きな転機となり、陸上競技に打ち込み、笹村先生の指導によって陸上競技を始めて2年でインターハイに出場するまでになりました。そして、法政大学への進学を果たし、陸上競技部への入部を通じて更に人生の可能性を広げることができました。

大学卒業後は陸上競技部のコーチを務めることとなり、その傍らで取得をした資格が今の職業へと繋がりました。

幸いにも健康であるため傘寿を目前にした今も現役で仕事を続け、社会との関わりを持っていて、今も陸上競技部との関わりは続いている、週末にはグラウンドへ赴いて、陸上競技部の監督を始めとするスタッフや孫のような年代の選手達と交流し、陸上競技を語り合い楽しんでいます。

このように若い選手達と接していることで仕事の場でも顧問先の若い担当者と歳の差を余り感じずに交流でき、活力を得ています。

また、陸上競技を通じて培った精神力や人との出会いが今の自分を形作る要素となっています。このように、スポーツを通じた交流は世代を超えてつながり、私自身の心の若さを保つ大きな要因ともなっています。



箱根駅伝でコーチとしてジープ上で選手を伴走

そうした関わりの中で、私は単なるOBとしてではなく、陸上競技部の一員として現場に寄り添うことを大切にしてきました。そして、その関わりが私の人生に充実感をもたらし、今も深いつながりを感じています。

その深いつながりの中で私のライフワークにもなっている『櫻新聞』の編集があります。

この櫻新聞は2008年に発行を始めて今年の2月には200号を迎えるました。約17年の間に一度も欠号することなく発行し続けてきたことは、私にとって大きな誇りです。この編集に携わることで選手たちと密に交流し、その成長を間近で見守ることができるのは何よりの喜びです。

また、この活動は私の人生において重要な役割を果たし、精神的な活力をも与えてくれています。

更に、法政大学駅伝チームの活動に関する資料の編集にも携わり、法政大学校友会の依頼により、3年前から箱根駅伝に出場するチームの選手名鑑の編集・制作に携わっております。

この箱根駅伝出場に向けて法政大学の応援資料として発行する選手名鑑の巻頭コラムの執筆や、編集担当を通じて母校の「駅伝チーム」を校友へ伝える役割をも担っております。



発刊200号を超えた櫻新聞と箱根駅伝選手名鑑



令和7年度 駅伝副主将の大島(左)と駅伝主将の花

これらの活動を通してチームを陰で支えることができる役割を与えられていることも自分の人生をより豊かなものにすることができています。

以上を踏まえまして、改めて自分の人生の過去から現在までを振り返ってみると、人生は人との出会いの連続で、現在は陸上部競技部の若い選手と接することで自分自身も活力を得ていますし、仕事を通じても顧問先の担当者と歳の差を感じることなく関わることができます。

週末の陸上競技部との関わりを離れての日常では個人事業ゆえ一人で過ごしている時間が多いですが、気分を変えて誰かと話したくなった時には、何時でも会えるという環境があって、決して孤独ではありません。このように「自分の居場所」が複数あるということが、前述の気持ちの若さに繋がっているのではないかと感じます。

傘寿を迎えるにあたり、改めて人生を振り返り、これまでの歩みを支えてくれた「出会い」に感謝を捧げたいと思います。

今後も、健康を保ち身体が動く限り、法政大学陸上競技部のサポートを続けながら、充実した人生を歩んでいきたいと存じます。



櫻新聞編集員のメンバーと



令和6年度卒業生との記念撮影

喜寿を迎えて

阿部 信男（高19期）

＜誕生から東京雄水会への入会まで＞

私は昭和24年（1949年）北秋田の鹿角市に生まれ、中学までこの地で過ごし、秋田商業高校に進学しました。鹿角市は江戸時代に旧南部領盛岡藩に所属しておりましたが明治4年（1871年）の廃藩置県によって秋田県に併合されました。秋田商業高等学校に進学することになったきっかけは八幡平中学校2年次に山口教頭にご指導を仰ぎ秋田商業高等学校への進学を進められました。教頭先生と私の父が友人関係だったこと、教頭先生が秋田商業高等学校の卒業生であったこと、の二つが大きな理由だったと考えられます。進学して私は八橋面影橋近くに下宿して同居する先輩に進められ卓球部に入部しましたが秋田商業

＜東京雄水会事務局に関わった約50年の歴史＞

初代柴辻正会長の期では幹事、その後歴代会長のもとで常任幹事、副会長を経験して第7代岸本六蔵会長の退任を機に副会長を辞任しました。第8代越前谷千秋会長の任期から顧問に、第9代川口輝司会長に続いております。私が副会長に在任中は、東京雄水会のホームページの立上げを行ないました。サークル活動の充実、同期会・OB会活動の活発化、母校の文武両道支援、他団体・他校との交流にも力を注ぎました。

2011年（平成23年）東京雄水会創設40周年記念では、工房201番 湊 恭太さん（高37期）に破格の価格で創作家具・木製長椅子をご制作頂き、これを母校に寄贈したことが忘れられません。

顧問に就任してからは、後継の三役が立派に会の

高等学校卓球部は県下では敵なしで全国にも名を馳せた有名校です。私ごときが少しの努力ではおぼつかないほど高レベルのクラブでした。高校卒業して就職のために上京、間もなくして東京雄水会の初代会長の柴辻 正さんから「事務局のお手伝いをして欲しい」と連絡がありました。どのような役目で何をするかも理解しないままでしたが母校秋商の伝統継承を意気に感じて事務局の一員になりました。その後も母校の有力運動部が全国大会出場のために上京した際には、「梵天=ぼんでん」を運んで東京雄水会の皆さんと会場へ応援に駆け付けました。



▲木製長椅子と ▼創作家具



運営に当たってくれています。女性会員の増員は

大変嬉しいことです。こういった後継へのバトンタッチによって東京雄水会での私の役目は完遂したと感じました。今は一会员として第9代会長に「フレー・フレー 川口」と心の中でエールを送っております(笑)。

近年は秋田県がひとつになって秋田のスポーツ、文化を応援する「秋田ふるさと応援団」に所属し

ております。今年に開催されるチャリティイベント「秋田応援の集い」では、秋田の野草、薬草を使った有名な「ごほんと言えば龍角散」でお馴染みの藤井隆太社長が講演します。

ぜひ、令和7年8月30日(土)11:00～東京雄水会の皆さんも四谷のスクワール麹町会場へご来場をお待ちしております。



秋田ふるさと応援団チャリティイベント「秋田応援の集い」



体操 池谷幸雄 講演中に演題の上でひよいと逆立ち



東中野区民センターでなまはげ交流会



お父上様が北秋田出身の俳優の高橋克典様が特別出演

<喜寿は通過点と思いたい>

私は近頃、「77歳まで生きたからにはもう少し長生きしたいと」思って、「周りのみんなに感謝をして楽しい人生を送る」のを新たに生きる目標にしました。若者に説教している老人を見掛けます。自分の価値観で人を責め、ひとつの失敗を全否定するような老人には成りたくないと思ってお

ります。とにかく感謝を忘れない楽しい人生を送り、あと数年はあちらから呼ばれないようにしたいと思います。

会員の皆さんのご健勝と東京雄水会の今後ますますのご発展を願っております。

そうだ！お花を贈ろう！ あらゆる場面に心に残るお花を！

全国各地に
協力花店多数！
いつでも新鮮な
お花を直接お届
けします！

ネットフラワーズ

代表 宮崎 勇一 (高18期)

〒221-0014 横浜市神奈川区入江1-20-8

制作本部 東京都中央区日本橋本町1-6-14

総合受付電 & FAX 045-439-7637



ふるさと 秋田の不動産 査定します!!

不動産相続のご相談も承ります！

代表取締役 長坂 博行 (高33期 昭和57年卒)



都市クリエイティブ
キャラクター
としきりくん

有限
会社 **都市クリエイティブ**

〒010-0917 秋田県秋田市泉中央三丁目5-12

TEL.018-864-7710 FAX.018-864-9165

<https://www.tc-create.com/>

(公社) 秋田県宅地建物取引業協会会員 免許証番号 秋田県知事(6)第1687号



行政書士
長坂 博行



ずっと、愛されるうどんを。



YOSKEホールディングス グループ
八代目 佐藤養助

佐藤養助直営店舗

佐藤養助 総本店

秋田県湯沢市稻庭町字稻庭80 TEL.0183(43)2911

天ぷら 正心庵

秋田県湯沢市稻庭町字稻庭81
TEL.0183(55)8885

佐藤養助 湯沢店/幸之助

秋田県湯沢市大町1-2-26 鈴木ビル
TEL.0183(72)5720

創作懷石 養心館

秋田県湯沢市古館町3-7
TEL.0183(72)4177

佐藤養助 横手店

秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46
秋田ふるさと村内 TEL.0182(33)8833

佐藤養助 秋田店

秋田県秋田市中通2-6-1
西武秋田店B1 TEL.018(834)1720

佐藤養助 トピコ店

秋田県秋田市中通7-1-2 トピコ3F
TEL.018(853)8218

佐藤養助 角館店

秋田県仙北市角館町東勝樂丁22-2
TEL.0187(52)1720 ※商品販売のみ

銀座 佐藤養助

東京都中央区銀座6-4-17
出井本館1F TEL.03(6215)6211

佐藤養助 日比谷店

東京都港区西新橋1-2-9 日比谷
セントラルビルB1 TEL.03(3595)6288

佐藤養助 浅草店

東京都台東区浅草1-30-12 浅草
三河屋本店1F TEL.03(5830)8173

有限会社 佐藤養助商店

代表取締役 佐藤 養助 [高38期]

ご注文専用フリーダイヤル

0120-41-1720



◀インターネット注文はこちら

佐藤養助 検索

<https://www.sato-yosuke.co.jp>

有限会社 佐藤養助商店 〒012-0107 秋田県湯沢市稻庭町字稻庭229 TEL.0183(43)2226 FAX.0183(43)2812

東京ど真ん中。



アキタコアベース AKITA COA BASE

秋田で「暮らす」「働く」、秋田と「つながる」首都圏総合相談窓口「アキタコアベース」では、
秋田への移住、秋田県内企業への就職に関する相談ごとに、サポートーが一人ひとりに合わせて対応。
秋田とつながる交流イベントも実施しております。ぜひご活用ください。



アキタコアベース（秋田県あきた暮らし・交流拠点センター）

所在地 〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目6番13号 京橋ヨツギビル1階
開館時間 10:00～18:00
休館日 毎週火曜日、5/3～5、8/13～15、12/29～1/3 ※その他臨時休館日あり
アクセス JR東京駅（八重洲地下街24番出口）から徒歩7分
東京メトロ銀座線 京橋駅（4番・6番出口）から徒歩2分
都営地下鉄浅草線 宝町駅（A5・A6・A7出口）から徒歩2分
E-mail coabase@a-iju.jp
電話 0120-122-255 070-1359-9624



移住イベントなどの最新情報は、秋田県移住・定住総合ポータルサイト
「秋田暮らし」はじめの一歩で配信！

WEBサイトはこちらをチェック▶

秋田暮らしはじめの一歩



公式SNSもチェック！ 秋田で暮らすための
気になる情報を発信中！

LINE

Instagram

X (旧Twitter)

YouTube

Facebook



問い合わせ

秋田県あきた未来創造部 移住・定住促進課 移住促進チーム

問合せ時間／8:30～17:00 (土曜・日曜・祝日休み)

〒010-8570 秋田市山王4-1-1 県庁本庁舎5F

☎018-860-1234 Eメール／iju@pref.akita.lg.jp

令和7年東京雄水会 新年会

東京雄水会の新年会が、2025年1月25日(土)12時から東京日比谷の佐藤養助日比谷店で、昨年より1名多い会員33名が集い開催された。

冒頭物故会員に対し黙祷を捧げた後、川口会長が挨拶し、母校の近況報告・昨年の活動報告と本年活動についての協力のお願いがあり、続いて、岸本顧問の乾杯のご発声で懇親の部に入った。

アルコールが入ったら会は一気に盛り上がり、テーブル毎或いはテーブルを移って、同期・同クラブ・中学の同窓等それぞれ話に花が咲き、会場のあちこちで歓声や笑い声があがるなど和やかな雰囲気に終始した。小林陽一さんから2月のライブの紹介があった後、途中から遠藤応援団長の飛び入り司会で、最近全国大会出場から遠ざかっている硬式野球部について大森義昭さんから、サッカー部について足利道夫さんから、現状と今後の

見通しについて説明があつたり、佐藤康子さんからレスリング部から大相撲の世界に入った欧山田(現在幕下50枚目)の紹介があり、激励の寸志が7万円強集り欧山田に送られることになったり、多いに盛り上がった。

雰囲気も最高潮に、いよいよ校歌斉唱。指揮は遠藤武二さんの後を受けた宮崎勇一監査副会長(高18期)、堂々たる指揮で校歌を声高らかに斉唱した。最後に、6月21日(土)開催の「東京雄水会の集い」での再会を期し、安宅副会長(高31期)の閉会挨拶で会を終了した。なお、岸本顧問から金一封とお酒、越前谷顧問と川口会長から金一封、安宅副会長からお酒の差し入れがありました。ありがとうございました。会費の残金は東京雄水会会計に寄付させていただきました。



まずは記念撮影

【出席者(敬称略)〈卒業期・五十音順〉】

大門彰高(8)、平塚秀樹(高13)、阿部一夫、遠藤武二、岸本六蔵、進藤紀夫(以上高16)、伊藤敏明、加藤由市、平川昌司、松岡悦子(以上高17)、越前谷千秋、水沢公一、宮崎勇一、渡部峰博(以上高18)、伊藤年行、大森義昭、戸井田俊明、星野勝(以上高19)、足利道夫(高20)、伊藤和朗、大橋弘幸、加藤通、佐藤政雄、新城敦、夏井洋二(以上高21)、小林陽一(高23)、川口輝司(高25)、安宅彰(高31)、

柏谷康、齋藤奈智子、佐藤康子、白石稻子、(以上高33)、保坂素子(高41)

以上

会長挨拶



乾杯のご発声は
岸本顧問



出席者最長者の
大門さん(高8)
川口会長(高25)



小林陽一さん（高23）（左）と平塚秀樹さん（高13）（右）



岸本顧問（左）と進藤紀夫さん（右）



遠藤武二さん（左）と阿部一夫さん（右）



高17期の皆さん、左から
加藤由市さん、平川昌司さん、
伊藤敏明さん、松岡悦子さん

高 18 期の
水沢公一さん(左)と越前谷顧問(右)



高 19 期の
大森義昭さん(左)と伊藤年行さん(右)



高 19 期の
星野勝さん(左)と戸井田俊明さん(右)



高 20 期の足利道夫さん(右手前)

高 21 期の
大橋弘幸さん(左)と加藤通さん(右)



高 21 期
左から伊藤和朗さん、
夏井洋二さん、新城敦さん



高 31 期の安宅彰さん(中央)

高 33 期の
佐藤康子さん(左)と
斎藤奈智子さん(右)



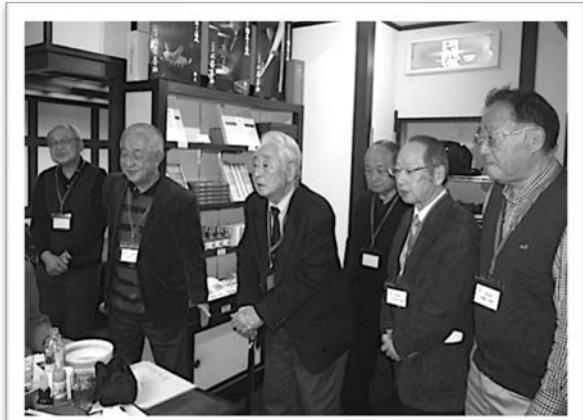


高33期の
柏谷康さん(右)と白石稻子さん(左)

高41期の
保坂素子さん(左)と白石稻子さん(右)



▲ 足利さんと
▶ 柏谷さんの浦和レッズ繋がり



大門さん以下卓球部の面々

31期と33期の仲良しメンバー



プラスバンド部のメンバー



出席者の中では若手のメンバー

世代を超えて懇親を図りました



不動産の賃貸経営と
コンサルティングの
KM です。

株式会社 KMコーポレーション
取締役会長 田中 優(高18期)

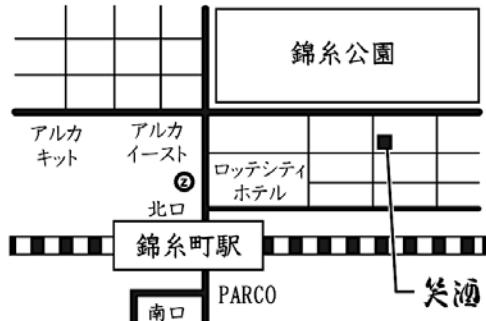
〒150-0043
渋谷区道玄坂2-15-1 ノア道玄坂1019号
TEL 03-6416-1134
E-mail : tanaka@km-corp.co.jp

秋田の美味しい食材と地酒
共にお楽しみください!!

秋田酒食 Dining えくし



店主
藤嶋 大久 (高46期)



■アクセス
JR・メトロ半蔵門線「錦糸町駅」
北口より徒歩3分
〒130-0013 墨田区錦糸4-12-8 1F
Tel & Fax 03-6658-4722

■営業時間 17:00~23:00
■定休日 木曜日・第2水曜日

宴会のご予約承ります。

『小豆バーが噛めません』

高十七期 松岡 素風

タイトルは自虐ネタで盛り上がった芸人「ヒロシ デス」のネタから拝借いたしました。まさに此の態(てい)が我が身に起ころうとは、可笑しくもあり哀しくもありの喜寿真っ盛りとなりました。

昨年団らぬも怪我をして、ひと月の入院生活を経験しましたが、それは老いという現実を突きつけられた日々でもありました。

大腿骨頸部骨折という老人あるあるの怪我は、一人暮らしの気ままな生活を簡単に奪いとるほどのアクシデントでした。一人暮らしの生活に戻りたい一心で、ドクター・ナース・理学療法士、皆様のご指導のもと、予定通りに退院し、もとの生活の場にもどることができました。

ところが、リハビリのトレーニングは順調なはずなのに、どこかが何かが?なのです。例えば、靴下をはくという所作で言えば、

怪我の回復の様子は感じても、同時に体のあちこちのこわびりが、靴下をはく、という動作をぎこちなくする。

今更の感ではありますが、これが老化現象と

言う奴、と気づくのでした。痛みを感じないよう歩くためにはお尻や大腿骨廻りの筋肉を鍛えなければならぬのに、老いていこうとする体に筋肉はたやすくついてくれません。悩ましいところです。

さて、予後一年となりました只今の状況は怪我

は回復し、そのほか余病もなく、相応に

暮らしているのですが「小豆バーが噛めません」のとおり老いとの同行二人の生活です。

そして、同行二人の暮らしの中で俳句を詠みます。

俳句は花鳥風月などを楽しみ、五七五にまとめる短い詩です。五七五にまとめる為には、余分な言葉を切り捨てまたは、言葉を探します。四苦八苦して作る俳句が、同行二人の生活を楽しく、面白く、時には悲しみを紛らわしてくれるツールとなっています。この小さな平和にこの上のない感謝、そして、俳句の面白さを教えてくださった秋商「東雄句会」の先達諸兄に、大いなる感謝を申し上げ了いたします。

隊列は雨を一途に鳥帰る 素風

入院室の窓から空を眺めていた時に、鈎を作つて渡る鳥の姿から得た一句です。

東雄句会

会長・事務局 松岡素風

連絡先 047・457・0109

令和6年度活動報告

会員数9名

毎月句会(通信句会)

秋田魁投稿年二回 不定期

東京雄水会HPに毎月

「句会便り」をUPしています。
覗いてみてください。



令和六年度

東雄句会

五句抄

小浜 一灯 (高11期)

松岡 素風 (高17期)

三平 趣泉 (高21期)

菜の花を足して仏前賑賑し

被災地に余震重なる凍てし夜

金色堂出でて今世の照紅葉

風鈴の客の送迎蕎麦処

隊列は雨を一途に鳥帰る

着ぶくれてスコープ覗く探鳥会

「原爆行」の詩吟肅々原爆忌

鮭一切かすがひとりなり五十年

枯野へと分け入る如くローカル線

立春や厨の老妻つまのてきぱきす

掌てのひらに遊び飛び立つ天道虫

木漏れ日と囀り満つる古社の杜

橋本 千舟 (高4期)

道庭 葦 (高11期)

柏谷ざぼん (高19期)

辿り着く卒寿の峠初茜

竹林の風真つ直ぐに淑氣かな

人の世の出会いと別れ半夏生

木漏れ日と囀り満つる古社の杜

春月や沖に影濃き船灯る

窓際の春光背に針仕事

吾ひとり月下美人の香る夜

木漏れ日と囀り満つる古社の杜

学童等植うる早苗の曲りなし
竿灯や光の波と群衆と

膨らむや野蒜の土のやわらかき
姉の逝く遙かにふはり春の雪

短夜や窓全開に風の道
鉢植ゑの花へと続く蟻の列

枝先に筑波嶺見ゆる初桜

日当たりの落葉溜まりに猫眠る

渓紅葉真つ直中を遊覧船

誕生の記念樹五歳柿若葉

北島 禮泉 (高6期)

中川 素石 (高17期)

夏井 陽一 (高21期)

一本を植ゑし水仙十花咲く

あれやこれやり残したる春の雨

豆腐店秋澄む朝や湯気高し

菜の花に見え隠れして遊ぶ子等

花見場所探し探して帰路につく

団栗の今年不作ぞ熊の影

両側に百日紅咲く通院路

ようやくに春の訪れふうわりと

ボール蹴り飽きてシーソー小春かな

吾米寿妻は喜寿なり祝ひけり

散歩道柔らの日射し夏に入る

天辺を結び白菜並びけり

木枯の一号の中通院す

夏立ちぬ人の装ひ新たなる

春めきて園児一列畦を行き

第 72 回雄球会ゴルフコンペ開催報告

雄球会事務局 戸井田俊明（高 19 期）

2024 年 9 月 25 日（水）、佐倉カントリー倶楽部にて毎年恒例秋の雄球会ゴルフコンペが開催され、会員 19 名が参加しました。コンペの結果を下記の通りご報告いたします。

東京雄水会の皆様には、次回第 73 回大会でお会いできることを楽しみにしております。

《大会概要》

去年と並んで「最も暑い夏」となったこの夏、9 月に入っても相変わらず 30 度を超える日が続いていましたが、コンペ開催当日は秋の雰囲気に変わり、時々小雨ながらゴルフ日和のもと開催されました。

コンペは高 15 期から高 25 期までの総勢 19 名と幅広いメンバーが参加しました。

普段はベント芝グリーンでプレーすることが多く、佐倉カントリー倶楽部独特の高麗グリーンの難しさと深いラフのため、皆さんスコアメイクに苦労しましたが、楽しく会話しながらラウンドし、親睦を深めました。



結果は、加藤由市さん（高 17 期）と辻永忠彦さん（高 18 期）がネット「75」で首位に並びましたが、後半の 16 番、17 番でパーを獲得した加藤由市さんがグロススコア上位で優勝、辻永忠彦さんが惜しくも準優勝となりました。

三位が一打差ネット「76」の田仲正雄さん（高 20 期）でした！

新ペリアの部では田仲正雄さん（高 20 期）が優勝、準優勝が夏井香さん（高 25 期）、三位が齊藤睦男さん（高 15 期）でした！

ベスグロ賞は齊藤睦男さん（高 15 期）と田仲正雄さん（高 20 期）が「91」でしたが大会ルールにより、最年長の齊藤睦男さん（高 15 期）が獲得しました！

優勝の加藤由市さん（高17期）は「直前に腰を痛めてゴルフが出来るか心配でしたが同組メンバーに恵まれ、楽しくゴルフが出来ました」と喜びを語っておりました。

久しぶりに顔を合わせる方も多く、とても和やかなコンペとなりました。旧交を暖め、和気あいあいの中次回コンペでの再会を約束し、散会しました。

今回ご参加いただけなかった方も、来春にはご参加いただけるのを楽しみにしています。次回3月26日（水）佐倉カントリー倶楽部でお会いしましょう。

《大会成績》

優 勝：加藤 由市（高17期） グロス97 ハンディ22 ネット75
準優勝：辻永 忠彦（高18期） グロス99 ハンディ24 ネット75
第三位：田仲 正雄（高20期） グロス91 ハンディ15 ネット76
第四位：齊藤 瞳男（高15期） グロス91 ハンディ14 ネット77
第五位：遠藤 武二（高16期） グロス99 ハンディ22 ネット77

ラッキーセブン賞

：岸本 六蔵（高16期） グロス100 ハンディ22 ネット78
ブービー賞：足利 道夫（高20期） ネット100
ベスグロ賞：齊藤 瞳男（高15期） グロス91

（新ペリアの部）

優 勝：田仲 正雄（高20期） グロス91 ハンディ16.8 ネット74.2

今回のコンペに東京雄水会川口会長より優勝、ラッキーセブン賞、ブービー賞、新ペリアの部優勝に賞品をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

《大会参加者》

齊藤 瞳男(15期)、遠藤 武二(16期)、岸本 六蔵(16期)、加藤 由市(17期)
鍬田 慶子(18期)、田中 優(18期)、辻永 忠彦(18期)、水沢 公一(18期)湊
次成(18期)、戸井田俊明(19期)、星野 勝(19期)、足利 道夫(20期)田仲 正雄(20
期)、加藤 通(21期)、夏井 洋二(21期)、佐藤 銀弥(22期)川口 輝司(25期)、柴
田 章(25期)、夏井 香(25期)



第72回雄球会ゴルフコンペ 令和6年9月25日 佐倉カントリー倶楽部

(後列左より)

水沢公一(18期)、湊次成(18期)、辻永忠彦(18期)、加藤由市(17期)、田中優(18期)、田仲正雄(20期)、加藤通(21期)
足利道夫(20期)、星野勝(19期)、夏井香(25期)、夏井洋二(21期)、戸井田俊明(19期)

(前列左より)

川口輝司(25期)、齊藤睦男(15期)、岸本六蔵(16期)、鍼田慶子(18期)、柴田章(25期)、遠藤武二(16期)、佐藤銀弥(22期)



(優勝: 加藤由市。夏井香幹事より賞品授与)



(準優勝: 辻永忠彦)

優勝者のひとこと（第72回大会）

加藤 由市（高17期）



昨年12月まで秋田でサラリーマン生活を送り退職を機に年末に76才にして初めて東京に移住しました。

秋田では、秋田市中心部から車で15分で秋田カントリークラブがあり、45分圏内に5~6個所のゴルフコースがあります。覚悟はしていましたが、東京ではゴルフ事情が当然悪いです。私はゴルフの練習が大好きなんですが、運転免許証返納間近の為、車がなく、練習場に行けなくて困っています。

又、秋田県内のゴルフ場は概ねメンバーの高齢化に阿る為（？）シルバーテイ（70才以上）を極端に前進させて設定している為大変楽です。東京では、誰もシルバーテイから打たないんで飛ばない私は焦ります。

雄球会には今年3月以来2度目の参加でした。やはり、7月に秋田でラウンドして以来のぶっつけ本番でしたからショットは絶不調だし、数十年ぶりのコーライグリーインだし、苦労しましたが、パートナーの遠藤雄球会長、紅一点の鍬田さん、完璧事務局の戸井田さんの秋商愛溢れる励ましのおかげでどうにか完走でき、その上運良く優勝できました。

秋田でもプライベートコンペで多少は優勝経験がありますが、東京での優勝は又、格別でとても嬉しいです。次回も頑張ります。

.....

下手は下手なり、上手は上手なりに
楽しもうじゃないか！ゴルフ！

秋商雄球会

ご参加お待ちしております。

会長 遠藤 武二（高16期） 事務局 戸井田俊明（高19期）

連絡先 090-4746-6415

mail : ttoita555815@gmail.com

第73回雄球会ゴルフコンペ開催報告

雄球会事務局 戸井田俊明（高19期）

2025年3月26日（水）、佐倉カントリー倶楽部にて毎年恒例春の雄球会ゴルフコンペが開催され、会員16名が参加しました。コンペの結果を下記の通りご報告いたします。

東京雄水会の皆様には、次回第74回大会でお会いできることを楽しみにしております。

《大会概要》

東京雄水会ゴルフ同好会「雄球会」コンペは、今回も絶好のゴルフ日和の中で開催されました。

満開の枝垂桜、雪柳やコブシの花が咲く佐倉カントリー倶楽部で爽やかな春の空気

を吸いながら、同窓生とのゴルフを楽しんだ一日となりました。

コンペは定刻9時10分 OUT1番より、1組目の前回大会優勝者の加藤由市さん（高17期）がティーオフ。この後、メンバーの声援に見送られながら順次スタートしました。

結果は、川口輝司さん（高25期・東京雄水会会長）が最終18番ホールで夏井香さん（高25期）を逆転して優勝（第68回大会以来二度目）を飾りました。

夏井香さんは17番ホール迄安定したゴルフでトップでしたが、最終の18番ホールでセカンドがガードバンカーに捕まり、まさかの「ああ…、無限のバンカー地獄」でのホール「11」。同組の川口輝司さんはバンカーを一発で脱出、「ボギーの5」でホールアウト。逆転優勝となりました。

プレーが終わったあとの表彰式でもこのバンカーでの記録的大叩きは話題になりましたが、夏井香さんは新ペリアの部優勝、ベスグロ賞も獲得しました。



久しぶりの再会にプレーの合間や昼の休憩時には、お互いの健康や母校の話題、同窓生の消息等を話し合う風景が見られました。久方振りの再会を喜び、雄水会会員の繋がりを感じた一日となりました。

プレー終了後の俱楽部ハウスでの表彰式・懇親会では川口輝司東京雄水会会長より東京雄水会の現状、六月開催の集いへの参加呼びかけがあり、優勝者ほかのスピーチ等旧交を暖め、最後に雄球会遠藤武二会長の音頭で校歌を斎唱。次回コンペでの再会を約束し散会しました。

次回9月10日(水)は雄球会第74回大会となります。次回雄球会でお会いしましょう。



《大会成績》

優 勝：川口 輝司（高25期）グロス104 ハンディ30 ネット74

準優勝：夏井 香（高25期）グロス 90 ハンディ 11 ネット 79

第三位：田中 優（高18期）グロス 96 ハンディ 16 ネット 80

第四位：戸井田俊明（高19期）グロス 107 ハンディ 26 ネット 81

第五位：岸本 六蔵（高16期）グロス 105 ハンディ 22 ネット 83

（新ペリアの部）

優 勝：夏井 香（高25期）ネット75.6

ベスグロ賞：夏井 香（高25期）グロス90

東京雄水会川口輝司会長より準優勝、7位、10位、ブービーに賞品をご寄贈いただきました。有り難う御座いました。

《大会参加者》

齊藤 瞳男(15期)、遠藤 武二(16期)、岸本 六蔵(16期)、加藤 由市(17期)

鍬田 慶子(18期)、田中 優(18期)、辻永 忠彦(18期)、水沢 公一(18期)湊 次

成(18期)、戸井田俊明(19期)、足利 道夫(20期)、加藤 通(21期)夏井 洋二(21

期)、佐藤 銀弥(22期)、川口 輝司(25期)、夏井 香(25期)

優勝者のひとこと（第73回大会）

川口 輝司（高25期）



いつもながらゴルフコンペの前日は寝付きが悪くウトウトしながら午前3時50分に起床。2時間かけ「佐倉カントリー俱楽部」に戸井田さんと一番乗り。2月に購入した新しいアイアンで早速練習開始。「増田哲仁プロの脱力スイング」を参考に力を抜いてのスイング。いつもと違い、なぜかボールはまっすぐ飛ぶ、今日は何かがありそうな予感。

OUT4組目、足利道夫さん（高20期）、加藤通さん（高21期）、夏井香君（高25期）と談笑しながらのスタート。いつもは同伴者より1ヤードでも飛ばそうとドライバーを強振、結果は右や左にボールが散ってOB杭の餌食。今日は「脱力スイング」でOBゼロ。2打目もグリーンを余り意識せずグリーンに届いたらラッキー。!!バンカー地獄にハマりながらも大たたきもせずにホールアウト。終わってみれば、バーディ、パー、ショートホールのワンオンはゼロ。バンカー地獄にハマりながらも大たたきもせずに高ハンディにも助けられて2回目の優勝となつた。この優勝でやっとゴルフというスポーツの入口が見えたような気がする。

ゴルフを始めて40年、練習はほとんどせず年2回の会社のコンペに参加するくらいでした。65歳からは週2日勤務となったことから時間に余裕ができYouTubeの動画を参考に試行錯誤しながら体に負担のかからないスイングを練習している。体力を維持して後10年はプレーを続けたい。

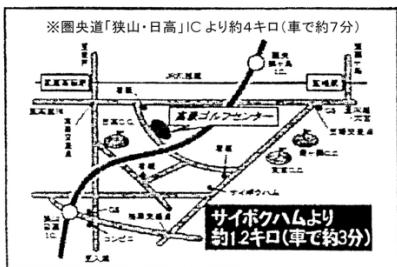
雄球会は、先輩・後輩の垣根を超えて「バカ喋り」をしながら「偶には真剣にボールと向き合い」終始和やかなゴルフコンペです。

同窓生の皆さん是非とも参加しては如何ですか、絶対に楽しいゴルフコンペです。

最後に会長の遠藤武二さん、事務局の戸井田俊明さん、幹事の岸本六蔵さん、加藤由市さん、大変お世話になりました。

次回、9月10日（水）「佐倉カントリー俱楽部」でお会いしましょう。

高萩ゴルフセンター



※圏央道「狭山・日高IC」より約4キロ(車で約7分)
同じく圏央道「鶴ヶ島IC」より約4.2キロ
(車で約7分)



- 250ヤード、64打席
- 木立に囲まれた
本コース漂う
ゴルフ練習場
- コースボール使用

打ち放題、シニアサービス、レディースサービスなど実施中 !!

〒350-1213

埼玉県日高市高萩1348-1 TEL 042(989)5621

高萩ゴルフセンター
代表取締役

安 藤

勝 (高27期・昭和51年3月卒業)

《参加者集合写真》



第73回雄球会ゴルフコンペ 令和7年3月26日 佐倉カントリー倶楽部
(後列左より)
辻永忠彦(18期)、夏井香(25期)、足利道夫(20期)、湊次成(18期)、加藤通(21期)、水沢公一(18期)
夏井洋二(21期)、遠藤武二(16期)、佐藤銀弥(22期)、田中優(18期)
(前列左より)
戸井田俊明(19期)、川口輝司(25期)、鍬田慶子(18期)、齊藤睦男(15期)、岸本六蔵(16期)、加藤由市(17期)

(大会風景)



優勝 (川口輝司)・遠藤会長



準優勝 (夏井香)・遠藤会長

「秋田ふるさと応援団」と「東京雄水会」と「私」

あげまき会東京支部（秋田北高同窓会）
支部長 藤原 宏子

秋田ふるさと応援団に関わったのは、2011年「3.11 東北・東日本大地震チャリティの集い」でした。あげまき会東京支部の役員会で「同行者OKだから行かない？」と声をかけられ、主人に聞いたら「行ってもいいよ」というので二人で参加しました。（現在は弟も巻き込み家族3人、団員です）



なまはげと家族

秋田北高とは全然違うパワーを感じて、ちょっと驚いたことを記憶しています。それからご縁を結ばせていただき、途中から進行役を仰せつかりましたが、しばらくは応援団との繋がりはチャリティ当日のお手伝いのみ。組織の大変さなど知る由もありませんでした。

応援団は2017年に東京都からの認証を受け、「特定非営利活動法人（NPO法人）秋田ふるさと応援団」として新たな船出をしました。私はNPO法人で仕事をしていたこともありお手伝いするようになり、今日までバッカヤードの一員として参加させていただいています。秋田ふるさと応援団の活動や情報は、ホームページでご紹介していますので、ぜひご覧ください。

秋田ふるさと応援団はスポーツ系応援団のイメージが大きいかと思いますが、スポーツ

だけではありません。チャリティーイベントでお預かりするお気持ちは、毎年秋田県高等学校体育連盟、秋田県高等学校文化連盟への支援とさせていただいている。

秋田にいた頃になぜか突然、野球というスポーツが好きになり、高校、大学、社会人とアナウンサー（ウグイス嬢）を経験し、アマチュア野球の仕事に長く携わりました。ただ野球以外のスポーツの知識はほとんど素人！応援団に入会してから、サッカー、ラグビー、卓球、バレーボール、バスケットボール・・・とにかく仕込みの私です。



秋田ふるさと応援団役員集合写真

またご存じの通り、秋田ふるさと応援団は東京雄水会を抜きにしては語れません。

中枢を担う財務部部長の阿部信男氏をはじめ、顧問の岸本六蔵氏、越前谷千秋氏、理事の伊藤和朗氏、川口輝司氏など東京雄水会の皆さんが多い数参加してくださっています。そのバイタリティーは応援団の大切な活動力になっています。

しかしながら発展途上！ 会員募集中です。ご協力を願いいたします。

このような形で東京雄水会とご縁ができましたことに感謝するとともに、秋田への思いと後輩たちへのエールを東京の地で一緒に育てていきませんか？

秋田商業高校 令和6年度の主な出来事（抜粋）

4.5 着任式・新任式・始業式	12.4～6 球技大会
4.8 入学式 210名	12.8 全商財務会計検定
4.10 対面式、部活動紹介	12.12 ビジネス実践報告会
4.24 生徒総会、PTA総会	12.15 全商英語検定、
4.25 開校記念日（104周年）	ビジネスコミュニケーション検定
5.13～16 1学期中間考查	12.19 芸能発表会
6.16 全商ビジネス計算実務検定	12.20 2学期終業式
6.23 全商簿記実務検定	12.26 吹奏楽部定期演奏会
6.30 全商ビジネス文書検定	1.14 3学期始業式
7.1～2 1学期期末考查	1.19 全商情報処理検定
7.19 1学期終業式	1.26 全商簿記実務検定
8.20 2学期始業式	2.2 全商商業経済検定
9.8 全商英語検定	2.12 秋商雄水会新入会員歓迎会、 3年生を送る会
9.15 全国英語スピーチコンテスト	
9.22 全商情報処理検定	2.18～21 1、2年生学年末考查
9.30～10.3 2学期中間考查	2.23 日商簿記検定
10.18～19 キッズビジネスタウン	2.28 表彰式
10.19 AKISHOP	3.3 第76回卒業証書授与式
11.5～8 2年生修学旅行	229名（男子116名、女子113名）
11.10 全商ビジネス計算実務検定	3.5～6 一般選抜学力検査
11.12～14 文化部フェア	3.13 一般選抜学力検査合格者発表
11.17 日商簿記検定	3.24 二次募集合格者発表
11.24 全商ビジネス文書検定	3.25 離任式
11.28～12.3 2学期期末考查	3.26 令和7年度新入生 入学説明会・物品

令和6年度秋田商業高校各クラブの活動実績（抜粋）

《インターハイ・全国大会出場クラブ・出場者》

レスリング部	男子（10名）	インターハイ 団体出場・個人 5名出場 SAGA2024 国民スポーツ大会 少年フリー 55kg級 第1位（山鹿辰士選手）、65kg級 第5位
剣道部	女子（2名）	インターハイ 個人出場
卓球部	男子（7名）	インターハイ 団体出場 女子（1名） インターハイ 個人出場
	男子（7名）	インターハイ 団体出場
	女子（7名）	インターハイ 団体出場、個人シングルス 1名出場、ダブルス 1組出場
柔道部	男子（1名）	第47回全国柔道選手権大会 個人出場
	女子（4名）	インターハイ 団体出場、個人 3名出場 第47回全国柔道選手権大会 個人 1名出場
テニス部	女子（2名）	インターハイ 個人シングルス 1名出場 ダブルス 1組出場 SAGA2024 国民スポーツ大会 個人 1名出場
水泳部	男子（2名）	インターハイ 個人 1名出場 SAGA2024 国民スポーツ大会 個人 2名出場
陸上競技部	女子（1名）	SAGA2024 国民スポーツ大会 個人出場
少林寺拳法	女子（1名）	インターハイ 個人出場 SAGA2024 国民スポーツ大会 個人出場
フェンシング女子（1名）		インターハイ 個人出場
ワープロ部（1名）		第71回全国高校ワープロ競技大会 個人出場
会計学部（1名）		第40回全国高校簿記競技大会 個人出場
珠算電卓部（4名）		第71回全国高校ビジネス計算競技大会 珠算団体 出場
コンピュータ部（1名）		第36回全国高校情報処理競技大会 個人出場
英語部（1名）		第41回全国商業高校援護スピーチコンテスト 個人出場

【運動部】

硬式野球部	剣道部	レスリング部
サッカーチーム	柔道部	軟式野球部
陸上競技部	水泳部	バスケットボール部
卓球部	テニス部	バレー部

【文化部】

文芸部	英語部	コンピュータ部
珠算電卓部	華道部	囲碁・将棋部
吹奏楽部	ワープロ部	生徒会執行部
家庭部	茶道部	チアリーディング同好会
商業美術部	会計学部	

東京雄水会 会則

第 1 条 (名 称)

本会は東京雄水会と称し、秋田市立秋田商業高等学校同窓会東京支部を構成する。

第 2 条 (目 的)

本会は、会員相互の融和・親睦の向上を図り、同窓会本部との連携を緊密にし、母校の発展に資することを目的とする。

第 3 条 (事 務 局)

本会の事務局は、幹事長宅に置くことを原則とする。

第 4 条 (事 業)

本会は、会報の発行及び会員名簿の整備を行うほか、第2条の目的達成のために必要な事業を行う。

第 5 条 (会 員)

本会は、東京首都圏内に居住する、秋田市商業学校・土崎商業学校及び秋田市立秋田商業高等学校を卒業した者及び在学した者を普通会員とし、同校の職員であった者を特別会員とする。

第 6 条 (役 員)

本会に、次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副 会 長 若干名
- (3) 監 査 2 名
- (4) 幹 事 長 1 名
- (5) 副幹事長 若干名
- (6) 常任幹事 若干名
- (7) 幹 事 若干名

第 7 条 (役員の任期)

役員の任期は2年とする。但し、再任は妨げない。

2. 補充された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

3. 役員は、任期が満了しても次期役員が就任するまでの間は、その任務を続けなければならない。

第 8 条 (役員の任務)

役員の任務は、次の通りとする。

- (1) 会長は、本会を代表し会務を総理する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し会務を分掌すると共

に、会長に事故ある時は、その任務を代理する。

- (3) 監査は、会務及び会計を監査する。
- (4) 幹事長は、日常業務及び会計を処理し、副幹事長・常任幹事及び幹事を統轄する。
但し、会計業務は副会長又は副幹事長の内1名を指名して委任することができる。
- (5) 副幹事長は、幹事長の業務を分掌する。
- (6) 常任幹事は、日常業務を分掌するほか、幹事の一部を掌握する。
- (7) 幹事は、同期の会員を掌握する。

第 9 条 (顧 問)

本会に、顧問を若干名置くことができる。

- 2. 顧問は、役員会の推薦に基づき、会長が委嘱する。
- 3. 顧問は、会長の諮問に応える。

第 10 条 (機 関)

本会に、次の機関を置く。

- (1) 総 会
- (2) 役 員 会

第 11 条 (総 会)

総会は、本会の最高議決機関とし、毎年1回定期的に開催するほか、役員会が必要と認めたときは臨時総会を開催する。

- 2. 次の事項は、総会の付議事項とする。
 - (1) 活動報告
 - (2) 収支決算報告
 - (3) 収支予算案
 - (4) 役員選出
 - (5) 会則の改廃
 - (6) その他役員会が必要と認めた重要事項

第 12 条 (役 員 会)

役員会は、総会に次ぐ議決機関とし、本会の重要な事項を審議・処理する。

第 13 条 (招集・議決)

総会及び役員会は、会長が招集し、議長は会長が務める。

2. 議事は、すべて出席者の過半数を以って決する。

第14条（会計）

本会の経費は、会費・寄付金及びその他の収入を以て充てる。

2. 本会の会費は、年額 3,000 円とする。

但し、卒業後 4 年間は会費の納入を免除する。

第15条（会計年度）

本会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

附 則

この会則は、昭和 46 年 10 月 23 日から施行する。

2. この会則は、令和 7 年 4 月 1 日から改定し施行する。

慶弔規程

本会の慶弔に関する業務を公正に遂行するため、この規程を定める。

1. 本会から出費する祝い金は次の通りとする。

(1) 叙勲又は社会的な貢献により、国から表彰若しくは褒章を受けた者に対して… 10,000 円

(2) 他の支部又は他校の同窓会総会等に招待され出席する場合…………… 10,000 円

2. 本会から出費する弔慰金等は次の通りとする。

(1) 会長経験者及び現職の会長……………

弔電 + 生花又は花輪 1 基 + 香典 10,000 円

(2) 会長経験者以外の顧問及び副会長・監査・幹事長・副幹事長・常任幹事……………

弔電 + 生花又は花輪 1 基 + 香典 5,000 円

(3) 上記 1・2 に該当する者以外の会員…弔電

(4) その他、特に必要と認められるものについては、会長の判断により対応する。

この規程は、平成 20 年 6 月 21 日から施行する。

この規程は、平成 24 年 6 月 16 日から改定施行する。

会報永久保存規程

本会の歴史を綴る会報を適正且つ永久に保存するため、この規程を定める。

1. 永久保存する会報の部数は、原本 1 部及び合冊製本したもの 5 部とする。

2. 保管場所は、次の通りとする。

(1) 原本は、事務局とする。

(2) 合冊製本したものは、母校 3 部及び会長・

会報編集責任者各 1 部とする。

3. 役員が変更された場合は、これを引き継ぎ役員会に報告するものとする。

4. 幹事長は、毎年発行した会報 6 冊を永久保存用として保管し、5 年毎に 5 部合冊製本しなければならない。

この規程は、平成 24 年 6 月 16 日から施行する。

会計処理規程

本会の会計処理業務を継続して適正に遂行するため、この規程を定める。

1. 収入・支出の会計処理は、総額計上とする。

2. 出金は、領収書と引換えに行うものとする。

3. 領収書は、A5 判の台紙 1 枚に付き 1 枚を貼

付し、出金の順に綴ることを原則とする。

4. 感熱紙のレシートは、時の経過により印字が消滅する可能性が高いため金額を赤書する。

5. 入・出金は全て入金又は出金の順に振替伝票に記載し、出納帳・補助簿・元帳に転記する。

6. 勘定科目及び仕訳内容は、次の通りとする。
但し、追加が必要な場合は役員会で決定する。

収入の部

1. 総会会費…表示額を超える部分は寄付金とする
2. 年会費…振替手数料の上乗せ納入部分は事務通信費の戻りとする。
3. 寄付金…(1)～(3)の合計
 - (1)一般寄付金…総会等の祝金・特定外の寄付金
 - (2)その他寄付金…特定の目的の寄付金
 - (3)応援寄付金…応援費特定の寄付金
4. 広告料…会報等の広告掲載料
5. 雑収入…受取利息他1～4に該当しないもの

支出の部

1. 総会費…会場費・講師・記念品等の直接費用
 2. 会報費…印刷製本費
 3. 会議費…総会以外の諸会議費用
 4. 事務通信費…総会・会議の案内・資料・会費納付・寄付依頼作成費・会報を含む送料・振替手数料
 5. 名簿整備費…名簿修正・登録委託料
 6. 寄付交付金…(1)(2)の合計
 - (1)サークル活動…各サークルの活動費補助
 - (2)その他寄付…特定寄付金の納付・出金等
 7. 応援費…母校の応援・激励費用
 8. 渉外費…慶弔費・他団体の会費・祝金・広告費
 9. 記念事業費…周年記念等の特別事業費
 10. 雜費…1～8に該当しないもの
- この規程は、平成24年6月16日から施行する。
この規程は、平成26年6月21日から改訂施行する。

会報送付基準規程

会員への会報を送付する基準を明確にするため、この規定を定める。

1. 会報を送付する会員は、次の通りとする。
 - (1) 学校卒業後10年以内の会員。

- (2) 学校卒業後11年以降で会則第14条第2項に定める会費を前年度に納入した会員。

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

役 員 名 簿 (案)

(令和 7 年 6 月～令和 8 年 6 月)

※太字は新任者、無印：留任

顧 問	大川与四郎(高 3)	佐藤 聰明(高 5)	岸本 六蔵(高 16)	越前谷千秋(高 18)
会 長	川口 輝司(高 25)			
副 会 長	戸井田俊明(高 19)	※佐藤 政雄(高 21)	安藤 勝(高 27)	高橋 貢(高 28)
	斎藤奈智子(高 33)	白石 稲子(高 33)	神馬美代子(高 41)	保坂 素子(高 41)
監 査	宮崎 勇一(高 18)	加藤 通(高 21)		
幹 事 長	※安宅 彰(高 31)			
常 任 幹 事	丹波日出夫(高 10)	進藤 紀夫(高 16)	松岡 悅子(高 17)	宮野 精一(高 18)
	足利 道夫(高 20)	伊藤 和朗(高 21)	大橋 弘幸(高 21)	菊地 昇(高 22)
	佐々木統男(高 22)	佐藤 満(高 31)	木田橋 誠(高 32)	佐藤 康子(高 33)
	山口 聰(高 39)	藤嶋 大久(高 46)		
幹 事	黒沢 登姓(高 6)	大門 彰(高 8)	細井 昇(高 10)	石田 京子(高 11)
阿部 誠(高 13)	大沢 弘子(高 14)	竹内 繁雄(高 14)	伊藤 峰男(高 15)	川合タミ子(高 15)
阿部 一夫(高 16)	増田 玲子(高 16)	石代 強(高 17)	須磨 仁(高 17)	秩父 良三(高 17)
平川 昌司(高 17)	鍬田 慶子(高 18)	渡部 峰博(高 18)	菊地 正義(高 19)	長野 悅子(高 19)
田仲 正雄(高 20)	堀江 健三(高 20)	中田 幾子(高 21)	丸藤田鶴子(高 22)	細谷美貴男(高 22)
大澤 誠(高 23)	小林 陽一(高 23)	細貝 裕子(高 23)	鎌田 勝(高 24)	嶋田久美子(高 24)
工藤 輝雄(高 25)	竹内 律子(高 25)	北島 孝作(高 26)	須磨 浩(高 26)	中野 都(高 26)
鈴木 敏子(高 27)	岩佐 礼子(高 28)	太田 守(高 28)	佐藤 洋(高 28)	千葉 信也(高 29)
高橋 司(高 30)	寺嶋万里子(高 30)	布施 弘之(高 30)	本間 直人(高 31)	内田ゆかり(高 32)
大友 英春(高 33)	佐々木幸栄(高 33)	須藤はるか(高 33)	伊藤 和樹(高 34)	工藤留美子(高 34)
川野美奈子(高 36)	斎藤 歩(高 36)	増子 政子(高 37)	湊 恭太(高 37)	菅原恵美子(高 38)
江川 政幸(高 39)	橋本 信二(高 39)	相場 文香(高 40)	横内由希子(高 40)	佐藤 珠美(高 42)
森澤 弘光(高 42)	山内マリ子(高 44)	斎藤美香子(高 45)	沢里 春美(高 45)	畠山 智浩(高 46)
京増 麗(高 47)	佐藤 大介(高 52)	小布施由貴(高 57)	佐々木 渉(高 57)	田村 翔太(高 59)
竹内 崇(高 61)	杉館 彩(高 62))	池田 萌子(高 63)	石岡 未来(高 63)	藤崎明日香(高 64)
斎藤 直道(高 65)	田口 怜奈(高 65)	田村 翔大(高 65)	菅原 勇人(高 67)	伊藤ほのか(高 68)
近 優華(高 68)	瀧田 佳伸(高 68)	石井 魁星(高 69)	大澤 佳子(高 69)	鎌田茉璃乃(高 69)
京極 加奈(高 71)	成田 敬子(高 71)	渡邊 浩伸(高 71)	宇野 和希(高 72)	榎本 韶介(高 72)
後藤ひまり(高 73)	菅原さくら(高 73)	高橋京太郎(高 73)	茂木 孝太(高 73)	岩本 創(高 74)
北嶋 菜智(高 74)	菅原 凜(高 74)	光田 楽生(高 74)	※小西 陽斗(高 75)	※館岡 美結(高 75)

※松橋 星羅(高 75)

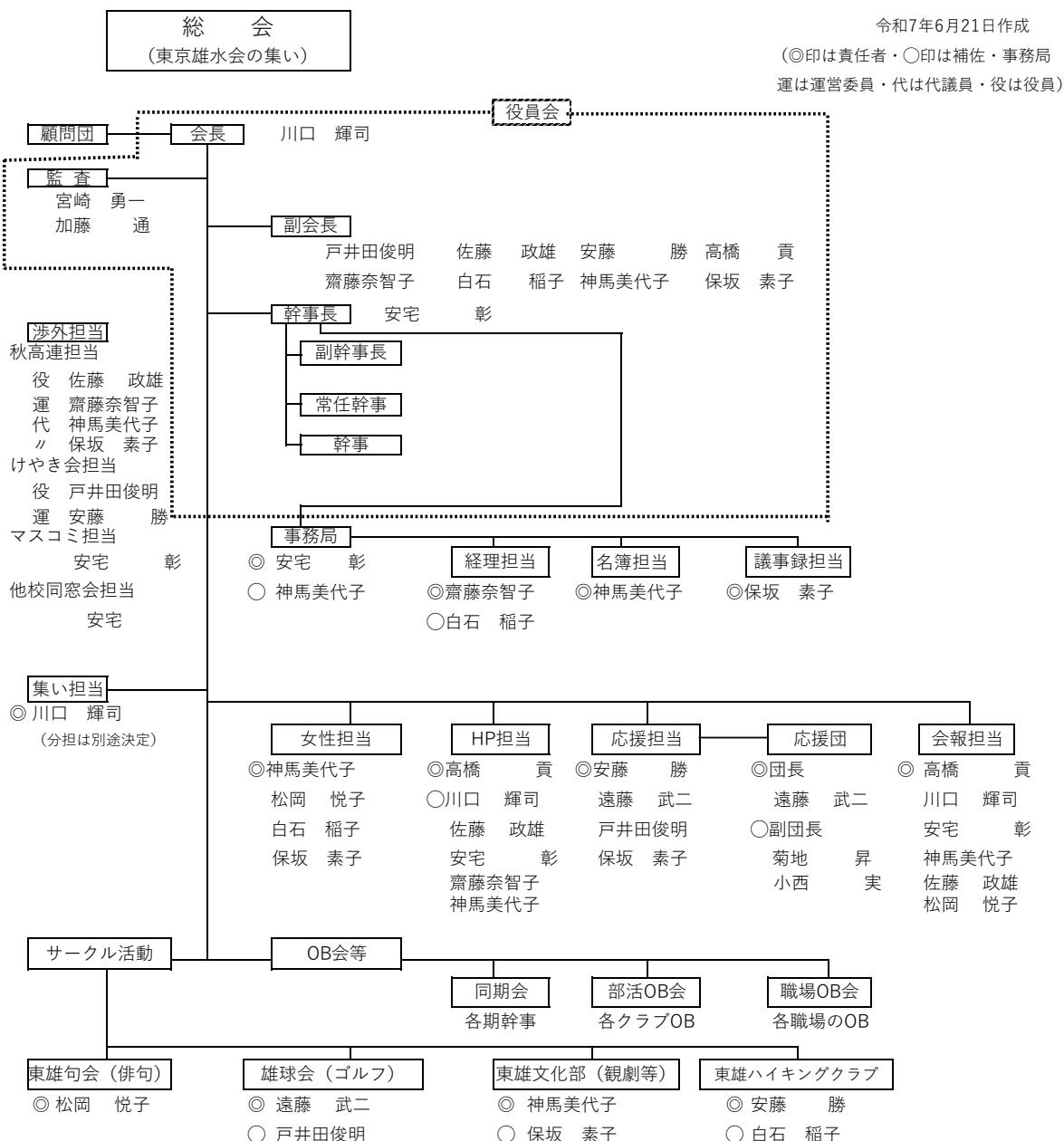
物 故 者 令和6年6月以降に判明または寄せられた会員の訃報は次の通りです。

足利 好悦(秋20)	高橋 勝博(高3)	松田 昭康(高4)	佐藤 剛男(高5)
井川 正隆(高8)	豊沢 貞和(高9)	田口 紗子(高10)	田口 博(高10)
大村田 進(高11)	菅原 鑑康(高11)	刑部 吉司(高12)	佐々木哲郎(高12)
石黒 寿(高14)	増田 秀夫(高14)	中島 誠至(高15)	引地 勝美(高16)
小林 薫(高17)	豊島 金範(高17)	木内 雅也(高38)	

■謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

※転居・訃報等の情報は、事務局または役員へご連絡ください。

東京雄水会 組織図



必勝歌

栄ある歴史を綴る
我らが使命
緑濃かき秋商の庭の
同じ室に咲く雄花
攻めば取り打てば勝つ
見よや我らが
いさおしを いさおしを

編集後記

東京雄水会第52号会報誌作成の担当が、今年から新たな担当になりました。初めてのことばかりで、作成準備に大変苦労致しました。皆様のご協力により、無事発刊することができました。掲載文章に、誤り等がある場合は、お許し下さい。また、ご寄稿頂きました方々には、お忙しいところ感謝いたします。第53号の作成には、今回の反省点を踏まえ準備を行いたいと思います。

副会長 高橋 貢(高28期)

秋田商業高校の所在地

〒010-1603

秋田市新屋勝平台 1-1

TEL 018-823-4308

FAX 018-823-4310



安宅彰税理士事務所

国税庁・東京国税局等で主に資産税(相続・贈与・財産評価・譲渡所得)を担当し、税法の取り扱いに精通しております。

■相続税は事前の対策・準備が重要です。

■相続税額のシミュレーション無料で承ります。下記のQRコードよりLINEでトークしてくだされば回答致します。



こんなことを聞いていいのかな?と悩まずに、お気軽にLINEでご相談ください。
LINE相談は無料
(雄水会員限定)

あたく あきら
税理士 安宅 彰 (高31期 剣道部)

〒210-0804 神奈川県川崎市川崎区藤崎4-33-24

携帯 090-2906-3786 TEL・FAX 044-577-3492

e-mail atkakr2018@gmail.com





校章の由来

商業にゆかりあるローマ神話の商業神 マーキュリーの速さを示す翼と
観知を表す蛇に 秋田市の「秋」を図案化したものである
(創立当時の数学教師・荻津謙治先生図案)

東京雄水会 会報 第52号

令和7年6月21日 発行

発 行 東京雄水会（秋田商業高校同窓会東京支部）
発行責任者 会長 川口輝司（高25期）
編集責任者 副会長 高橋貢（高28期）

東京雄水会に関するお問い合わせ
幹事長 安宅彰（高31期）
〒210-0804 神奈川県川崎市川崎区藤崎4-33-24
TEL & FAX 044-577-3492
携帯電話 090-2906-3786

ホームページ 東京雄水会または <http://akisho-tokyo-yusukai.jp/>

印 刷 株式会社 ポラリス
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-17-3 7階
TEL 050-6875-7637 FAX 03-3661-1876



スマホで下のQRコードを読み込んでください。
秋田商の応援歌がスマホに表示されます。

